

山梨大学(武田 1 (附特))校舎(Ⅱ期)改修機械設備工事

令和 5 年 6 月
山梨大学 施設・環境部

部長	課長	課長補佐	担当

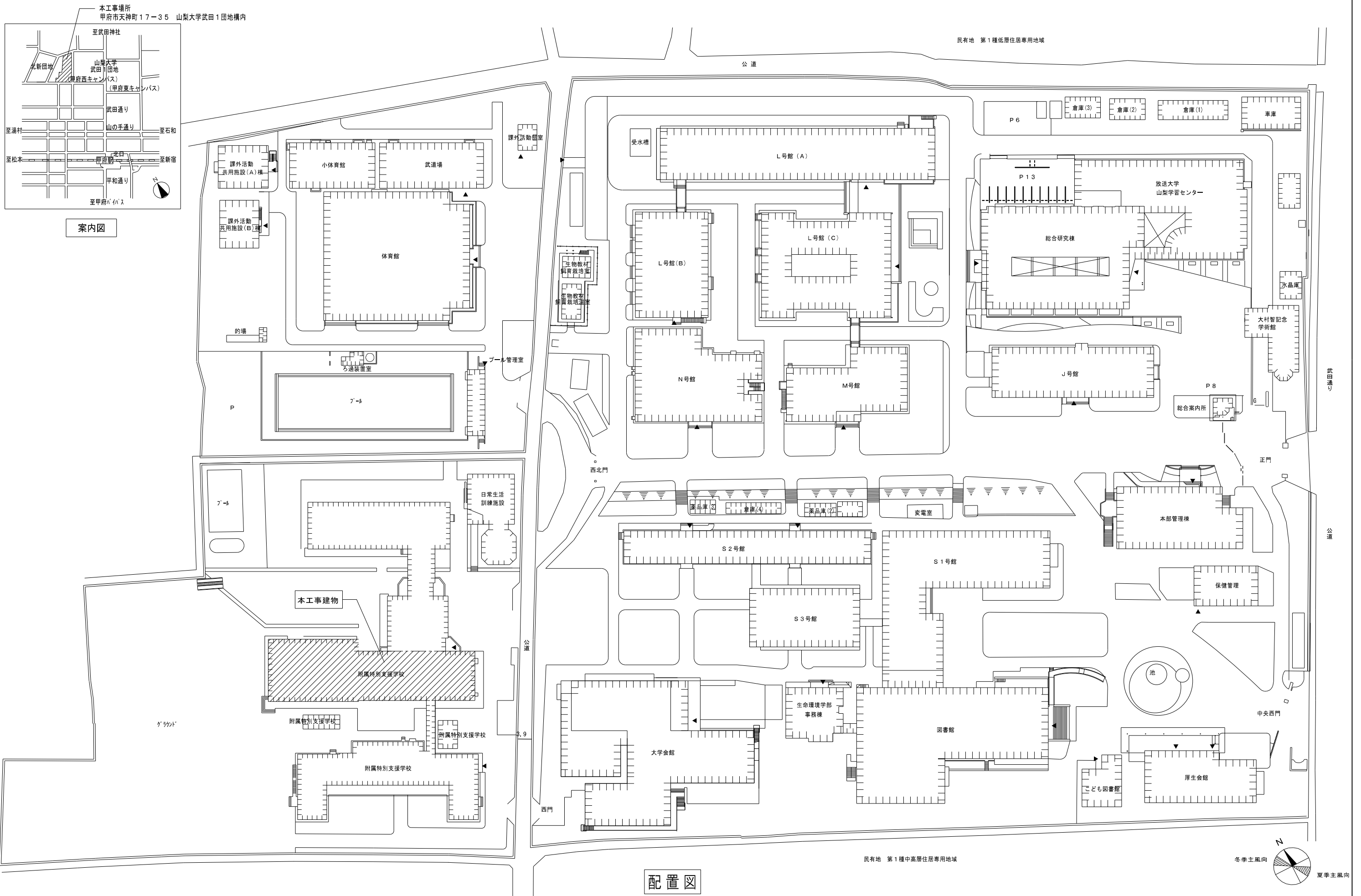
山梨大学(武田1(附特))校舎(Ⅱ期)改修機械設備工事																																																								
I 工事概要																																																								
1. 工事場所	山梨県甲府市天神町17-35 山梨大学武田1団地構内																																																							
2. 完成期限	令和6年 2月 29日(木曜日)																																																							
3. 建物概要	<table border="1"> <tr> <th>建物名称</th> <td>特別支援学校</td> </tr> <tr> <th>工種</th> <td>棟葺替</td> </tr> <tr> <th>構造</th> <td>RC造</td> </tr> <tr> <th>階数</th> <td>地上1階</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">建築基準法による</th> <td>建築面積(m²)</td> <td>2,592</td> </tr> <tr> <td>延べ面積(m²)</td> <td>3,022</td> </tr> <tr> <th>消防法施行令別表第一の区分</th> <td>(6) 二</td> </tr> <tr> <th>改修面積(m²)</th> <td>990</td> </tr> <tr> <th>備考</th> <td></td> </tr> </table>	建物名称	特別支援学校	工種	棟葺替	構造	RC造	階数	地上1階	建築基準法による	建築面積(m ²)	2,592	延べ面積(m ²)	3,022	消防法施行令別表第一の区分	(6) 二	改修面積(m ²)	990	備考																																					
建物名称	特別支援学校																																																							
工種	棟葺替																																																							
構造	RC造																																																							
階数	地上1階																																																							
建築基準法による	建築面積(m ²)	2,592																																																						
	延べ面積(m ²)	3,022																																																						
消防法施行令別表第一の区分	(6) 二																																																							
改修面積(m ²)	990																																																							
備考																																																								
4. 工事種目(●印の付いたものが対象工事種目)	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工事種目</th> <th colspan="3">建物別及び屋外</th> </tr> <tr> <th>屋内</th> <th>工 事 種 別</th> <th>屋外</th> </tr> <tr> <td>● 空調設備</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>● 換気設備</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 排煙設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 自動制御設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>● 衛生器具設備</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>● 給水設備</td> <td>一式</td> <td></td> <td>一式</td> </tr> <tr> <td>● 排水設備</td> <td>一式</td> <td></td> <td>一式</td> </tr> <tr> <td>● 給湯設備</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>● 消火設備</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>● ガス設備</td> <td></td> <td></td> <td>一式</td> </tr> <tr> <td>○ 雨水利用設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>● 撤去工事</td> <td>一式</td> <td></td> <td>一式</td> </tr> </table>	工事種目	建物別及び屋外			屋内	工 事 種 別	屋外	● 空調設備	一式			● 換気設備	一式			○ 排煙設備				○ 自動制御設備				● 衛生器具設備	一式			● 給水設備	一式		一式	● 排水設備	一式		一式	● 給湯設備	一式			● 消火設備	一式			● ガス設備			一式	○ 雨水利用設備				● 撤去工事	一式		一式
工事種目	建物別及び屋外																																																							
	屋内	工 事 種 別	屋外																																																					
● 空調設備	一式																																																							
● 換気設備	一式																																																							
○ 排煙設備																																																								
○ 自動制御設備																																																								
● 衛生器具設備	一式																																																							
● 給水設備	一式		一式																																																					
● 排水設備	一式		一式																																																					
● 給湯設備	一式																																																							
● 消火設備	一式																																																							
● ガス設備			一式																																																					
○ 雨水利用設備																																																								
● 撤去工事	一式		一式																																																					
5. 指定部分	●無 ○有 対象部分(指定部分工期 年 月 日)																																																							
6. 概成工期	●無 ○有 令和 年 月 日(曜日) (第1編1.1.2) [第1編1.1.2]																																																							
7. 設備概要	●印の付いたものを適用する) <table border="1"> <tr> <th>方式及び種別</th> <th>設 備 概 要</th> </tr> <tr> <td>空調方式</td> <td>●個別方式</td> </tr> <tr> <td>主要熱源機器</td> <td>●パッケージエアコン、ルームエアコン</td> </tr> <tr> <td>自動制御方式</td> <td>○電気式 ○電子式 ○デジタル式</td> </tr> <tr> <td>給水方式</td> <td>○高置タンク方式 ●水道直結方式</td> </tr> <tr> <td>排水方式</td> <td>建物内の汚水と雑排水(○合流式 ●分流式) ポンプ排水 ○有(○汚水 ○雑排水 ○湧水) ●無 排水槽 ○有(計容量 m³) ●無 建物外放流先 (1)汚水 ●直放流下水管 (2)雑排水●直放流下水管</td> </tr> <tr> <td>消火設備の種類</td> <td>●屋内消火栓設備 ○スプリンクラー設備 ○泡消火設備 ○連結散水設備 ○連結送水管 不活性ガス消火設備 ○()</td> </tr> <tr> <td>ガスの種類</td> <td>●都市ガス(種別 、高位発熱量、低位発熱量供給圧力 Pa、一般ガス導管事業者名) ○液化石油ガス</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">※改修の場合は既存概要を示す</p>	方式及び種別	設 備 概 要	空調方式	●個別方式	主要熱源機器	●パッケージエアコン、ルームエアコン	自動制御方式	○電気式 ○電子式 ○デジタル式	給水方式	○高置タンク方式 ●水道直結方式	排水方式	建物内の汚水と雑排水(○合流式 ●分流式) ポンプ排水 ○有(○汚水 ○雑排水 ○湧水) ●無 排水槽 ○有(計容量 m ³) ●無 建物外放流先 (1)汚水 ●直放流下水管 (2)雑排水●直放流下水管	消火設備の種類	●屋内消火栓設備 ○スプリンクラー設備 ○泡消火設備 ○連結散水設備 ○連結送水管 不活性ガス消火設備 ○()	ガスの種類	●都市ガス(種別 、高位発熱量、低位発熱量供給圧力 Pa、一般ガス導管事業者名) ○液化石油ガス																																							
方式及び種別	設 備 概 要																																																							
空調方式	●個別方式																																																							
主要熱源機器	●パッケージエアコン、ルームエアコン																																																							
自動制御方式	○電気式 ○電子式 ○デジタル式																																																							
給水方式	○高置タンク方式 ●水道直結方式																																																							
排水方式	建物内の汚水と雑排水(○合流式 ●分流式) ポンプ排水 ○有(○汚水 ○雑排水 ○湧水) ●無 排水槽 ○有(計容量 m ³) ●無 建物外放流先 (1)汚水 ●直放流下水管 (2)雑排水●直放流下水管																																																							
消火設備の種類	●屋内消火栓設備 ○スプリンクラー設備 ○泡消火設備 ○連結散水設備 ○連結送水管 不活性ガス消火設備 ○()																																																							
ガスの種類	●都市ガス(種別 、高位発熱量、低位発熱量供給圧力 Pa、一般ガス導管事業者名) ○液化石油ガス																																																							
II 工事仕様																																																								
1. 共通仕様	<p>(1) 文部科学省発注工事請負等契約規則(文部科学省訓令第二十二号)別記第1号の工事請負契約基準、現場説明書、図面 枚及び本特記仕様書 2枚によるほか、●印の付いたものを適用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和4年版)(以下「標準仕様書」という。) ●公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和4年版)(以下「改修標準仕様書」という。) ●公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(令和4年版)(以下「標準図」という。) ●文部科学省機械設備工事標準仕様書(特記基準)(令和4年版)(以下「文科仕様書」という。) ●文部科学省機械設備工事標準図(特記基準)(令和4年版)(以下「文科標準図」という。) ●工事写真撮影要領(令和元年7月) ●公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)(以下「標準仕様書」という。) ●公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)(以下「標準仕様書」という。) ●公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)(以下「改修標準仕様書」という。) ●公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)(以下「改修標準仕様書」という。) <p>(2) 建築工事及び電気設備工事を本工事に含む場合は、それぞれの特記仕様書を適用する。</p>																																																							

2. 特記仕様	<p>(1) 項目及び特記事項は、●印の付いたものを適用し、○印の付いたものは適用しない。</p> <p>(2) 項目に記載の(第 編 . . .)内表示番号は、標準仕様書の該当項目番号を示す。</p> <p>(3) 項目に記載の〔第 編 . . . 〕内表示番号は、改修標準仕様書の該当項目番号を示す。</p> <p>(4) 項目に記載の<第 編 . . . >内表示番号は、文科仕様書の該当項目番号を示す。</p>																				
章 項 目	特 記 事 項																				
● 一般共通事項	<p>●適用区分</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●風圧力 ●風速(Vo= 30 m/s) ●地表粗度区分(Ⅲ) ●積雪荷重 <p>建設省告示第1455号における区域別表(27)</p> <p>この工事現場に、下記のいずれかの電気保安技術者を選任する。</p> <table border="1"> <tr> <th>項目名</th> <th>電気保安技術者</th> </tr> <tr> <td>1. 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>2. 1級電気工事施工管理技士の資格を有する者</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>3. 高等学校又はこれと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>4. 旧電気工事技術者検定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>5. 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>6. 第1種電気工事士の資格を有する者</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>7. 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>8. 第2種電気工事士の資格を有する者</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>9. 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学(実験を含む)に関する科目を修めて卒業した者</td> <td>●</td> </tr> </table> <p>工食用電力を構外から引き込む場合は、法令に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する。</p> <p>この工事現場では、次の施工条件による</p> <ul style="list-style-type: none"> ●周辺に対し、騒音・振動・埃に配慮をすること。 ●学校の使用状況により作業中止の可能性あり。 	項目名	電気保安技術者	1. 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者	●	2. 1級電気工事施工管理技士の資格を有する者	●	3. 高等学校又はこれと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者	●	4. 旧電気工事技術者検定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	●	5. 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	●	6. 第1種電気工事士の資格を有する者	●	7. 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者	●	8. 第2種電気工事士の資格を有する者	●	9. 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学(実験を含む)に関する科目を修めて卒業した者	●
項目名	電気保安技術者																				
1. 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者	●																				
2. 1級電気工事施工管理技士の資格を有する者	●																				
3. 高等学校又はこれと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者	●																				
4. 旧電気工事技術者検定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	●																				
5. 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	●																				
6. 第1種電気工事士の資格を有する者	●																				
7. 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者	●																				
8. 第2種電気工事士の資格を有する者	●																				
9. 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学(実験を含む)に関する科目を修めて卒業した者	●																				
● 施工条件	<p>(第1編1.3.3) [第1編1.3.3]</p>																				
● 環境への配慮	<p>(第1編1.4.1) [第1編1.4.1]</p> <p>(1) 本工事において、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第100号)」に基づく環境物品等の調達の推進に関する基本方針(平成31年2月閣議決定)に定める特定調達品目の分野「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。</p> <p>(2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ②接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③接着剤は、可塑性(フタル酸ジエーテル及びフタル酸ジエーテルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性剤を除く)が追加されていない材料を使用する。 ④①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。 <p>(3) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 																				
● 機材の品質等	<p>(第1編1.4.2) [第1編1.4.2]</p> <p>(1) 本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。</p>																				

○ 機材の検査等	<p>機材の検査に伴う試験</p> <p>(第1編1.4.5~6) [第1編1.4.5~6]</p>																																				
● 施工調査	<p>[第1編1.5.1~3]</p> <p>事前調査 ●本工事 ○別途</p> <p>調査内容</p> <p>調査項目 ●既存資料調査</p> <p>調査範囲 ○図示 ○</p> <p>調査方法 ○図示 ○</p> <p>●はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告を行う。ただし、走査式埋設物調査で埋設物の調査ができない場合は、監督職員との協議による。</p> <p>下記の職種及び作業に適用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●配管施工(配管工事) ●熱絶縁施工(保温工事) ●冷凍空調機器施工(フィン)ユニット、パナソニック形空調機の据付け及び整備) 																																				
● 技能士	<p>(第1編1.5.2) [第1編1.6.2]</p>																																				
○ 施工の検査等	<p>検査に伴う試験</p> <p>(第1編1.5.4~6) [第1編1.6.5~7]</p>																																				
○ 技術検査	<p>(第1編1.6.2) [第1編1.7.2]</p>																																				
● 完成時の提出図書	<p>(第1編1.7.1~5) [第1編1.8.1~6]</p> <p>工事完成後提出する完成図等の種類及び提出部数は下記による。</p> <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>体裁等</th> <th>部数</th> </tr> <tr> <td>完成図</td> <td>原図(A1版)</td> <td>1部</td> </tr> <tr> <td>"</td> <td>製本(A3版黒表紙金文字入り)</td> <td>2部</td> </tr> <tr> <td>"</td> <td>仮製本(A1版、A3版)</td> <td>各2部</td> </tr> <tr> <td>施工図</td> <td>原図(A1版)</td> <td>1部</td> </tr> <tr> <td>"</td> <td>仮製本(A1版)</td> <td>2部</td> </tr> <tr> <td>※保全指導書</td> <td>製本</td> <td>3部</td> </tr> <tr> <td>※機器完成図</td> <td>製本</td> <td>2部</td> </tr> <tr> <td>※機器性能試験成績書</td> <td>製本</td> <td>2部</td> </tr> <tr> <td>※官公庁届出書類</td> <td>製本</td> <td>2部</td> </tr> <tr> <td>※諸手続き書類(写)</td> <td>製本</td> <td>2部</td> </tr> <tr> <td>工事写真帳</td> <td>電子媒体 紙媒体(ファイル撥じ)</td> <td>1部</td> </tr> </table> <p>CADデータ ●要</p> <p>本工事は次の書類については、電子結品の対象とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●工事写真 ●完成写真 ●完成図 <p>貸与する設計図のCADデータの著作権者名：山梨大学 ファイル形式：JWW DXF</p> <p>貸与条件：貸与するCADデータを本工事における施工図又は完成図作成のため以外に使用しないこと。</p> <p>図面に特記なき場合は、工事区分表による。</p> <p>換気扇、圧力扇及び標準仕様書に記載なく特記のないものの電動機の保護規格は、製造者規格による標準品としてよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●50Hz ○60Hz <p>(1) 機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。</p> <p>(2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は、原則として表示された数値以下とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本工事 ○別途 <p>調整項目(測定箇所等は監督職員の指示による。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●風量調整 ●水量調整 ●室内外空気の温度の測定 ○室内気流及びびじみ合いの測定 ○騒音の測定 ●飲料水の水質の測定 ○雑用水の水質の測定 ○ <p>●別契約の関係受注者が設置したものは無償で使用できる。</p> <p>○本工事で設置する。(図参照)</p> <p>「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。</p> <p>○内部足場(○種 ○種) ○外部足場(○種 ○種)</p>	名称	体裁等	部数	完成図	原図(A1版)	1部	"	製本(A3版黒表紙金文字入り)	2部	"	仮製本(A1版、A3版)	各2部	施工図	原図(A1版)	1部	"	仮製本(A1版)	2部	※保全指導書	製本	3部	※機器完成図	製本	2部	※機器性能試験成績書	製本	2部	※官公庁届出書類	製本	2部	※諸手続き書類(写)	製本	2部	工事写真帳	電子媒体 紙媒体(ファイル撥じ)	1部
名称	体裁等	部数																																			
完成図	原図(A1版)	1部																																			
"	製本(A3版黒表紙金文字入り)	2部																																			
"	仮製本(A1版、A3版)	各2部																																			
施工図	原図(A1版)	1部																																			
"	仮製本(A1版)	2部																																			
※保全指導書	製本	3部																																			
※機器完成図	製本	2部																																			
※機器性能試験成績書	製本	2部																																			
※官公庁届出書類	製本	2部																																			
※諸手続き書類(写)	製本	2部																																			
工事写真帳	電子媒体 紙媒体(ファイル撥じ)	1部																																			
● 他工事又は他工種との取り合い																																					
● 電動機	<p>(第2編1.2.1) [第2編1.2.1]</p>																																				
● 電源周波数																																					
● 容量等の表示																																					
● 総合試運転調整	<p>(第2編1.3.1~3) [第2編1.3.1~3]</p>																																				
● 足場その他	<p>(第2編4.1.1) [第1編2.1.1]</p>																																				

● 埋め戻し土・盛土	<p>(第2編4.2.1) [第2編7.1.1]</p> <p>●根切り土の良質土 ○山砂の類</p> <p>以下の配管は、管の周囲に山砂の類を施す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●給水管 ●汚水管 ●雑排水管 <p>●構内敷きならしとする。 ○構外に撤出し、適切に処分する。</p>																																																																	
● 建設発生土の処理方法	<p>(第2編4.2.1) [第2編7.1.1]</p>																																																																	
● 耐震措置	<p>設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて建築設備耐震設計施工指針2014年版(独立行政法人建築研究所監修)による。</p> <p>(1) 機器の据付け及び取付け</p> <p>設計用水平地震力は、機器の質量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量)に、地域係数1.0及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="5">設計用標準水平震度</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">階</th> <th rowspan="2">機器種別</th> <th colspan="2">●特定の施設</th> <th colspan="2">○一般の施設</th> </tr> <tr> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> </tr> <tr> <td>上層階</td> <td>機器</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋上及び塔屋</td> <td>防振支持の機器</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>水槽類</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中間階</td> <td>機器</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水槽類</td> <td>水槽類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>機器</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地階・1階</td> <td>防振支持の機器</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>水槽類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> </table> <p>・上層階とは2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。</p> <p>・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの</p> <p>・水槽類にはオイルタンクを含む。</p> <p>・重要機器は次にによる。</p> <p>[名称：空調屋外機、記号：ACP-1~5、MAC-1、ACR-1~8] [名称：、記号：] [名称：、記号：] [名称：、記号：] [名称：、記号：] [名称：、記号：] [名称：、記号：] [名称：、記号：] [名称：、記号：]</p> <p>(2) 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とする。</p>	設計用標準水平震度					階	機器種別	●特定の施設		○一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階	機器	2.0	1.5	1.5	1.0	屋上及び塔屋	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0	中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0	水槽類	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6	機器	1.0	0.6	0.6	0.4	地階・1階	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
設計用標準水平震度																																																																		
階	機器種別	●特定の施設		○一般の施設																																																														
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																													
上層階	機器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																													
屋上及び塔屋	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																																													
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0																																																													
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																													
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																																													
水槽類	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																													
	機器	1.0	0.6	0.6	0.4																																																													
地階・1階	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																													
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																													
● 配管	<p>(第2編第2章) [第2編第2章]</p> <p><第2編1.1.1> <第2編2.1.1></p> <p>(1) ステンレス鋼管の接合は、下記による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●呼び径60S u以下(●S A S 3 2 2を満足した継手 ○) <p>(2) 溶接部の非破壊検査 ○不要 ○要()</p>																																																																	
● 地中埋設標等	<p>(第2編2.7.1~3)</p> <p>(1) 地中埋設標 ●要(図示による) ○不要</p> <p>(2) 埋設表示テープ ●要(排水管を除く) ○不要</p>																																																																	
○ 絶縁継手	<p>(第2編2.2.12) [第2編2.1.1]</p> <p>図示の位置に取り付ける。</p>																																																																	
○ 試験	<p>(第2編2.9.1~5) [第2編2.7.1~5]</p> <p>既設配管を含む部分の試験○要(方法及び圧力：) ○不要</p>																																																																	
○ 保温	<p>(第2編3.1.1~6) [第2編3.1.1~3]</p> <p>標準仕様書第2編によるほか次による。ただし、各工事種目で別に指定されたものは除く。</p> <p>○多湿箇所は下記による。</p> <p>室内： 配管： ○共同構内の保温種別は下記による。 ダクト： 配管：</p>																																																																	
● 塗装	<p>(第2編3.2.1) [第2編3.2.1]</p> <p>次の露出配管は、塗装又は記載の仕上げとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●屋外： ●ドレン管 (●指定色塗装 ○) ○金属電線管 (○溶剤垂鉛丹仕上げ[付着量300g/m²以上]) (●指定色塗装) ○屋内： ○ (○指定色塗装 ○) 																																																																	
○ 電線類	<p>(第2編4.7.1)</p>																																																																	
● 既存躯体への穿孔	<p>[第2編5.2.1]</p> <p>穿孔機械を使用し既存躯体に穿孔する場合は、金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を用いて施工する。</p> <p>●はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に下記の方法により埋設物調査を行い、監督職員に報告する。</p> <p>●走査式埋設物調査 ○放射線透過検査</p>																																																																	

山梨大学施設・環境部				設計	山梨大学(武田1(附特))校舎	工事名	山梨大学(武田1(附特))校舎(Ⅱ期)改修機械設備工事
担当		一般建築士事務所登録(長野) 事務所7312号 管理建築士 一級建築士登録 第208750号 関口 浪男 〒381-0012 長野市柳原2360番地4 TEL 026(296)8300		設計業務名	(Ⅱ期)改修設計業務	副名	山梨大学(武田1(附特))校舎(Ⅱ期)改修機械設備 特記仕様書(1)
担当		設計体制及び執務 役員名 役員名 担当者 担当者 湯本 春日 杉本		設計者氏名	一級建築士登録 第323511号 春日 仁一	種別	A1：— A3：—
				図面番号		特M	- 01



案内図

配置図

山梨大学施設・環境部		AEI 株式会社 一級建築士事務所登録(長野) №77312号 管理建築士 一級建築士登録 第208750号 関口 浪男 〒381-0012 長野市船場2360番地4 TEL 026(286)4300		山梨大学(武田1(附特))校舎 (Ⅱ期)改修設計業務 設計者 氏名 一級建築士登録 第323511号 春日 仁一		工事名 山梨大学(武田1(附特))校舎(Ⅱ期)改修機械設備工事 図面名 配置図・案内図 縮尺 A1 : 1/500 A3 : 1/1000 図面番号 M-01
担当		検査員	設計担当	担当者	担当者	
		湯本	春日	ヤン		

石綿含有設備資材の処理

I. 石綿を含有する設備資材の撤去方法

(1) 工事受注者は、施工に先立ち以下の報告を行うこと。

撤去に先立ち、「大気汚染防止法」の他「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行い、監督職員に報告を行う。

(2) 各部位の撤去方法は、以下の内容及び撤去要領図を参考とし、監督職員に計画書を提出し承諾を得ること。

(a) ダクトフランジ部

ダクトフランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。

・撤去方法

ア) ダクトの切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を施す。

イ) ダクトの切断は、フランジ部分の両側 約100mmの箇所において慎重に行う。

ウ) ダクト片側の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様飛散防止措置を施し、もう片側の切断を行う。

(b) 成形保温材付き配管の曲線部

成形保温材付き配管の曲線部の撤去は、原則として切断による方法とする。

・撤去方法

ア) 配管の切断に先立ち、飛散防止措置として成形保温材に飛散抑制剤の塗布を施すとともに、成形保温材前後の保温材を撤去する。

イ) ビニルシート等で成形保温材を包み配管表面でテープ止めとし密閉する。

ウ) 配管の切断は、密閉部分の両側 約100mmの箇所において慎重に行う。

II. 石綿を含有する設備資材の処理方法

(1) 処理方法

(a) 処理に先立ち、関係機関と協議を行い監督職員へ計画書を提出し承諾を得る。

(b) 石綿含有廃棄物であることを表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」の他、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき構外搬出適切処理とする。

(c) 構外搬出適切処理後、監督職員へ報告書を提出する。

(e) 石綿含有設備機器については、相手庁及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。

石綿含有設備資材撤去リスト

種類	寸法	箇所	備考
ダクトエルボー	300×200	2	
	400×250	2	
	500×250	2	
ダクトフランジ	200φ	1	
	300×200	5	
	400×250	4	
	500×350	2	
	700×500	2	
キャンバス継手	200φ	1	
	640φ	1	
	200×200	1	
	600×550	1	

※ダクトフランジ部・たわみ継手フランジ部・配管フランジ部・成形保温材付き配管の撤去に先立ち、フランジ部・配管1箇所につき2箇所切断する。

凡例 (撤去配管)

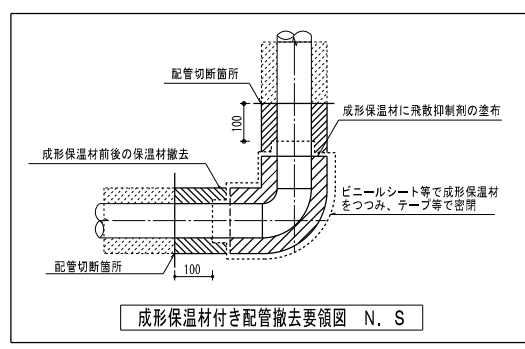
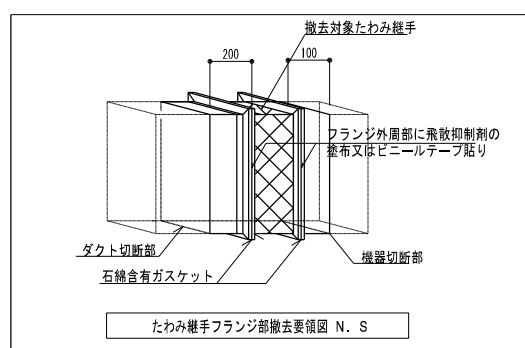
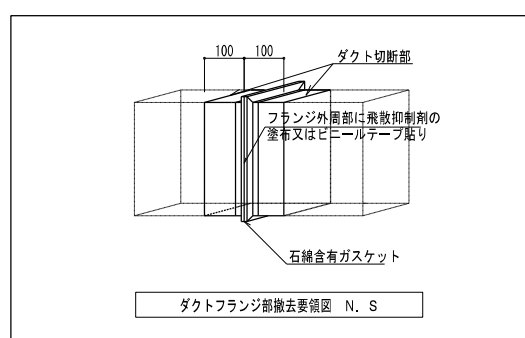
(●印を付けたものを適用し、○印のものは適用しない)

記号	管種	材質	保温範囲	備考
— S —	蒸気管(往)	配管用炭素鋼鋼管(黒)	●屋内 ○屋外	
— SR —	蒸気管(還)	配管用炭素鋼鋼管(黒)	●屋内 ○屋外	
— R —	冷媒管	冷媒用被覆鋼管	●屋内 ●屋外	
— D —	ドレン管	配管用炭素鋼鋼管(白)	●屋内 ○ピット内	
— I — — II —	給湯管	水道用亜鉛めっき鋼管	○屋内 ●屋外	
— X —	消火管	配管用炭素鋼鋼管(白)	○屋内 ○屋外	
— — —	給水管	ビニルライニング鋼管	●屋内 ●ピット内	
— — —	雑排水管	配管用炭素鋼鋼管(白)	●屋内 ○屋外	
— — —	汚水管	排水用鑄鉄管 2種	○屋内 ○ピット内	
— — —	汚水管(土中)	ヒューム管		
— G —	ガス管	配管用炭素鋼鋼管(白)	○屋内 ○ピット内	

凡例 (新設配管)

(●印を付けたものを適用し、○印のものは適用しない)

	配管材料	管継手	施工場所
●給水管	<ul style="list-style-type: none"> 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWWA K 116 ・VA ○VB 水道用内外面硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWWA K 116 ○VD 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6742 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 JIS K 6742 水道用ポリエチレン二層管 JIS K 6762 架橋ポリエチレン管 JIS K 6769 + 保温材10mm(融着方式) 架橋ポリエチレン管 JIS K 6769 + さや管 ポリブテン管 JIS K 6778 + さや管 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 JWWA K 132 ・PA ・PB 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 JWWA K 132 ・PD 水道用・給水用耐震型高性能ポリエチレン管(エスロハイパーAW エスロハイパーAWHP) 	管端防食継手 外面被覆管端防食継手 水道用硬質ポリ塩化ビニル継手 JIS K 6743 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル継手 JIS K 6743 水道用ポリエチレン管金属継手 JWWA B 116 架橋ポリエチレン管継手 JIS K 6770 架橋ポリエチレン管継手 JIS K 6770 ポリブテン管継手 JIS K 6779 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管用コア継手 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管用コア継手専用継手	○屋内一般 ○ピット内 ○地中埋設部分(土間部分) ・ピット内 ・ピット内及び土中埋設管 ・地中埋設部分(外部) ・ピット内 ・屋内一般 ○地中埋設部分(外部) ・ピット内 ・屋内一般 ・床内転がり配管(ヘッダー以降の2次側) ・屋内一般 ・ピット内 ・屋内一般 ・ピット内 ・地中埋設部分 ・ピット内 ・屋内一般 ・ピット内 ・地中埋設部分
●給湯管	<ul style="list-style-type: none"> 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWWA K 140 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管(内外面被覆) JWWA K 140 鋼管(・L・M) JIS H 3300 断熱被覆鋼管(・L・M) JIS H 3300 水道用耐熱性硬質塩化ビニル管 HTVP 水道用内外面耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管(外面被覆) WH TLP 架橋ポリエチレン管 JIS K 6769 + 保温材10mm(融着方式) 架橋ポリエチレン管 JIS K 6769 + さや管 ポリブテン管 JIS K 6778 + さや管 一般配管用ステンレス鋼管 JIS G 3448 	水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管用管端防食継手 外面被覆管端防食継手 鋼管用継手 JIS H 3401 鋼管用継手 JIS H 3401 水道用耐熱性硬質塩化ビニル管継手 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管用管端防食継手 架橋ポリエチレン管継手 JIS K 6770 架橋ポリエチレン管継手 JIS K 6770 ポリブテン管継手 JIS K 6779 一般配管用ステンレス鋼管継手 SAS 322	・屋内一般 ・ピット内 ・地中埋設部分 ・U字溝内 鋼管用継手 JIS H 3401 鋼管用継手 JIS H 3401 ・屋内一般 ・ピット内 ・屋内一般 ・ピット内 ・地中埋設部分(土間部分) ・地中埋設部分 ・ピット内 ・コンクリート埋設部分 ・屋内一般 ・床内転がり配管(ヘッダー以降の2次側) ・屋内一般 ・ピット内 ○屋内一般 ・ピット内
●排水管	<ul style="list-style-type: none"> 配管用炭素鋼鋼管 JIS G 3452 配管用炭素鋼鋼管 JIS G 3452 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741(○VP・VU) 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 AS58 (RS-VU) 耐火二層管 内管(・VP・VU) 遮音耐火二層管 内管(・VP・VU) 排水用塩化ビニルライニング鋼管 DVLP 排水用ターレエポキシ塗装鋼管 WSP032 排水用メカニカル鑄鉄管 CIP 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWWA K 140 リフパイプ JSWASK-13 (PRP) 強化ポリプロピレン二層管 GRP 建築用耐火性能硬質ポリ塩化ビニル管(エスロン耐火VPパイプ) 	排水用ねじ込み式排水管継手 JPF DF 001 排水用鋼管用可とう継手 JPF MDJ 002 排水用硬質ポリ塩化ビニル継手 JIS K 6739 排水用硬質ポリ塩化ビニル継手 JIS K 6739 耐火二層管継手 遮音耐火二層管継手 排水用鋼管用可とう継手 管端防食コア付継手 排水用メカニカル継手 排水用メカニカル鑄鉄管異形管 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管用管端防食継手 リフパイプ継手 専用継手 耐火DV継手、耐火DV透明継手、耐火ブラAD・HG/SG継手	・屋内一般 ・ピット内 (厨房系統 高温排水部) ・屋内一般 ・ピット内 ○屋内一般 ○ピット内 ・地中埋設部分(外部のみVU) ○地中埋設部分(外部) ・屋内一般 ・ピット内 ・屋内一般 ・ピット内 ・屋内一般 ・ピット内 ・屋内一般 ・ピット内 ・屋内一般 ・ピット内 ・屋内一般 ・ピット内 ・屋内一般 ・ピット内 ・屋内一般 ・ピット内 ・屋内一般 ・ピット内 (厨房系統 高温排水部) ・屋内一般 ・ピット内 ・地中埋設部分
●通気管	<ul style="list-style-type: none"> 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741(○VP・VU) 耐火二層管 内管(・VP・VU) 配管用炭素鋼鋼管 JIS G 3452(白) 建築用耐火性能硬質ポリ塩化ビニル管(エスロン耐火VPパイプ) 	排水用硬質ポリ塩化ビニル継手 JIS K 6739 耐火二層管継手 排水用ねじ込み式排水管継手 JPF DF 001 耐火DV継手、耐火DV透明継手、耐火ブラAD・HG/SG継手	○屋内一般 ○ピット内 ・屋内一般 ・ピット内 ・屋内一般 ・ピット内 ・屋内一般 ・ピット内 ・地中埋設部分
●消火管	<ul style="list-style-type: none"> 配管用炭素鋼鋼管 JIS G 3452(白) 圧力配管用炭素鋼鋼管 JIS G 3454(Sch40) 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 WSP041 消火用ポリエチレン外面被覆鋼管 WSP044 消火設備配管用高性能ポリエチレン管(エスロハイパーAW消火管 高圧消火管) 	ねじ込み式可鍛鑄鉄管継手 JIS B 2301 圧力配管用ねじ込み式可鍛鑄鉄管継手 JPF MP 004 専用継手	○屋内一般 ○ピット内 ・屋内一般 ・ピット内 ・地中埋設部分 ・ピット内 ・地中埋設部分 ・ピット内 ・屋内一般 ・ピット内 ・地中埋設部分
●ガス管	<ul style="list-style-type: none"> 配管用炭素鋼鋼管 JIS G 3452(白) 圧力配管用炭素鋼鋼管 JIS G 3454(Sch40) ポリエチレン被覆鋼管 JIS G 2301 ガス用ポリエチレン管 JIS K 6774 ガス供給会社の規定による 	ねじ込み式可鍛鑄鉄管継手 JIS B 2301 圧力配管用ねじ込み式可鍛鑄鉄管継手 JPF MP 004 JIS G 2301 又は JWWA K 117 ガス用ポリエチレン管継手 JIS K 6775	○屋内一般 ・ピット内 ○屋内一般 ・ピット内 ○地中埋設部分 ・ピット内 ・地中埋設部分 ・ピット内
●冷媒管	<ul style="list-style-type: none"> 鋼管(・L・M) JIS H 3300 断熱材被覆鋼管 JCDA 0009 	鋼管用継手 鋼管用継手	・屋内一般 ・ピット内 ○屋内一般 ・ピット内
●ドレン管	<ul style="list-style-type: none"> 配管用炭素鋼鋼管 JIS G 3452(白) 硬質塩化ビニル管 JIS K 6741(○VP・VU) 耐熱性硬質塩化ビニル管 HTVP 空調ドレン用結露防止層付硬質塩化ビニル管(ACドレンパイプ) 	排水用ねじ込み式排水管継手 JPF DF 001 排水用硬質塩化ビニル継手 JIS K 6739 結露防止層付硬質塩化ビニル管継手(ACドレン継手)	・屋内一般 ・ピット内 ・地中埋設部分(土間部分) ○屋内一般 ・ピット内 ・地中埋設部分 ・屋内一般 ・ピット内 ・地中埋設部分 ・屋内一般 ・ピット内



工事区分表

- 印の付いたものを適用する。
- が重複する項目は、それぞれの区分が必要とする工事を自ら行う。


区分		建	電	機	土	備
項目	名称	築	気	械	木	考
コンクリート穴あけ	梁、壁木製型枠入り					
"	壁スリーブ入れ	○	○			
"	床スラブ木製型枠入り					
"	床スラブスリーブ入れ	○	○			
同一開口部補強	鉄筋切断及び補強筋入れ					
配管ダクト類の防水			○	○		
貫通部補修						
A-LCパネルの穴あけ、補修	ダクト等の貫通部					
P-C板の穴あけ	スリーブ入れ					
同一土補修						
インサート	P-C板					
インサート	コンクリート床	○				
天井点検口	点検口取付及び、開口部補強	○				
軽量鉄骨下地開口部遷出し	電気設備関係開口部		○			
"	機械設備関係開口部			○		
軽量鉄骨下地開口部補強	天井及び壁、ボード切開	○				
開口補強を必要としない			○	○		
ボード等の切開						
特殊仕上材の天井、壁、床に取付ける器具等の穴あけ加工			○	○		
壁等重量物の下地補強	露出形器具取付用		○	○		
床点検口	点検口取付及び、開口部補強	○				
防火区画貫通部補修			○	○		
機器・配管取付後の壁、床等の補修			○	○		
流し台、ミニキッチン本体、水切	ステンレス製（含む排水金具）	○				
同上用配管接続	給排水用			○		
流し台	陶器製			○		
洗面器等取付化粧板				○		
ルーフトレン		○				
堅礎	防露工事共	○				
雨水排水管	第1樹から排水幹線までの配管			○		
"	幹線の配管			○		
生活排水、実験排水管	建物及び第1樹までの配管			○		
"	第1樹から排水幹線までの配管			○		
"	幹線の配管			○		
大型機械基礎						
同一基礎土鉄骨梁台						
機器用アンカーボルト	ボイラ等機械設備関係機器					
"	自家発電機等電気設備関係機器					
一般機器類の基礎	仕上げ共	○				
屋外自立釜の基礎	仕上げ共					
屋外貯油槽	地下式					
共同溝	歩床コンクリート					
建物、共同溝接続トレンチ						
同一接続部止水板						
各種槽類	コンクリート製					
"	SUS、FRP、鋼製					
"	屋外大型のものの基礎					
"	屋上設置のものの基礎					
換気扇取付	ダクトのあるもの			○		
"	壁、サッシ等への取付（材共）			○		
同上用スイッチ			○			
同上用電源配線			○			
同上用枠、取付板等	木製、アルミ製、鉄製			○		
全熱交換器				○		
同上用スイッチ			○	○		取付、配管配線は電気工事
外壁取付ガラリ	給排気用					
内壁取付ガラリ						
ガラリへの給排気ダクト接続				○		
煙感知器連動防火戸			○			既存
同上用レリーズ	配管配線、ボックス共			○		
同上用煙感知器	リレー及びリレーまでの配管配線共			○		
排煙防火ダンパー	リレー取付まで①					
煙感知器連動シャッター	リレー取付まで②					
煙感知器連動防煙垂れ壁	リレー取付まで③					
上記①～③用煙感知器	リレーまでの配管配線共					

区分		建	電	機	土	備
項目	名称	築	気	械	木	考
道路側溝用排水	七型・U型と管敷設					
制御盤	制御盤以降の配管、配線共		○			
同上用電源配線	1次側接続まで		○			
屋内消火栓	消火ポンプ、制御盤			○		既存
屋内消火栓起動リレー			○			既存
同上表示灯及び起動装置			○			既存
自動火災報知器				○		
連絡送水口	産板共					
独立煙突						
同一土煙道	鋼板製					
同一土管保護設備						
配管配線用ビット						
盤、配管、ダクト、配線用の二重床開口	フリーアクセスフロア等		○			
コンクリートシャフト						
点検口						
天井フック						
機械室、電気室の						
防音遮音処理						
特殊サイズ鏡			○			
化粧用洗面器、鏡	化粧カウンターは除く			○		
雷保護設備						
保守管理用タラップ、はしご						
室内テレビ用吊金物						
テレビアンテナ	取付共					
同一土基礎						
グリストラップ及び	コンクリート製				○	
ガソリントラップ	ステンレス鋼板製					
電動シャッターの配管配線	三次側、操作盤、押釦取付共					
同上用電源配線	一次側接続まで					
自動扉の配管配線	三次側					
同上用電源配線	一次側接続まで					
電気錠操作盤	読取装置共					
同一土配管配線						
電気錠	配管配線、接続ボックスまで					
同一土配管配線	操作盤～接続ボックスまで					
中央監視装置本体	関係機器、関係機器間配線を含む					
同一土用電源配線	一次側接続まで					
同一土用信号線	各メーターから装置まで					
ユニットバス本体	据付共					
同一土用電源配線	一次側接続まで。SWの取付配線共					
同一土用配管	接続まで					
冷蔵、冷凍、恒温恒湿、	現場製作					
シールド、防音、						
無音室等の内装						
同一土用電源配線	一次側接続まで					
同一土用照明・コンセント	電源配管配線、接続ボックス共					
同一土用配管	接続まで					
冷蔵、冷凍、恒温恒湿、	プレハブ型					
シールド、防音、						
無音室等の内装						
同一土用電源配線	一次側接続まで					
同一土用照明・コンセント	電源配管配線、接続ボックス共					
同一土用配管	接続まで					
芝生、種子吹付け						
法枠、モルタル吹付け						
コンクリート擁壁						
補葺						

区分		建	電	機	エレベータ	備
項目	名称	築	気	械	タ	考
昇降機設備本体	三方枠、同取付後の壁補修まで（トロ詰め）					
同上用機械室	天井フック、床シンダーコンクリート、防塵塗料、搬入用等開口、換気ガラリ共					
同上用監視盤						
同上換気扇取付						
機械室換気扇取付	サーモ、スイッチ共					
各種信号用制御線	停電用、火災用等					
三方枠周囲の壁仕上						
各階出入口用開口	敷居取付持出し共					
昇降路内中間ビーム設置						
ビット内防水						
動力、照明電源、接地引き込み						
コンセント設置	ビット内、機械室内					
インターホン配線	シャフト外、監視盤～制御盤 シャフト内、制御盤内接続共					
非常放送用スピーカ						
同上用配線	シャフト外、AMP～制御盤 シャフト内、制御盤内接続共					
監視カメラ						
同上用配線	シャフト外、監視制御装置～制御盤 シャフト内、制御盤内接続共					
点検用タラップ	ビット内					

区分		建	電	機	エスカレーター	備
項目	名称	築	気	械	タ	考
搬入口、据え付け用穴明け、同復旧						
フレーム受け用枠						
吊込穴、フック、復旧工事						
転落防止柵、網、仕切り板						
三角ガード						
天井目地、床、回り仕上げ						
スプリンクラー等						
防火シャッター						
床部照明工事						
下部機械室耐火構造及び防水工事						
機械室受電盤までの動力線、電灯線、接地線の配管配線						
点検用電源の機械室までの引き込み配管配線						
シメッター及びエスカレーター電気インターロック用接点の供給及び配管配線工事（必要な場合）						
監視盤との信号用配管配線工事						

区分		建	電	機	クレーン	備
項目	名称	築	気	械	ン	考
走行レール、ストップバー						
クレーン点検台及びはしご						
走行用給電装置						
電気工事（電源盤以降2次側）						


担当	山梨大学施設・環境部	 一級建築士事務所 長野県 長野市 381-0012 長野市 381-0012 長野市 381-0012 設計担当 湯本 春日 設計担当 湯本 春日 設計担当 湯本 春日	山梨大学（武田1（附特））校舎 （二期）改修設計業務 設計者 山梨大学（武田1（附特））校舎 第323511号	山梨大学（武田1（附特））校舎 （二期）改修機械設備工事 工事区分表 図面番号 A1 : ー A3 : ー M- 03
	山梨大学（武田1（附特））校舎 （二期）改修設計業務 設計者 山梨大学 第323511号			

冷暖房設備 機器表 (撤去)

記号	名称	仕様	電気容量 (50Hz)			非常電源	台数	設置場所	備考		
			φ	V	kW						
GHP-1	ガスヒートポンプエアコン (屋外機)	型式	冷暖切替			1	200	冷0.35 暖0.38	1	屋上	型番 YNMP180E2N
		冷房能力	18.0 kW	暖房能力	23.6 kW						
		ガス消費量	冷房16.8kW	暖房19.2kW	冷媒封入量9.5kg						
		付属品	防振架台								
		外形寸法	1100×500×1740H		質量	370 kg					
GHP-1-1	ガスヒートポンプエアコン (室内機)	型式	天井カセット1方向			1	200	0.1	2	食堂	
		冷房能力	5.6 kW	暖房能力	6.3 kW						
		付属品	ワイヤードリモコン、その他標準付属品一式								
		外形寸法	1100×800×270H		質量						
GHP-1-2	ガスヒートポンプエアコン (室内機)	型式	天井カセット4方向形			1	200	0.1	1	食堂	
		冷房能力	7.1 kW	暖房能力	8.0 kW						
		付属品	ワイヤードリモコン、その他標準付属品一式								
		外形寸法	950×950×290H		質量						
GHP-2	ガスヒートポンプエアコン (屋外機)	型式	冷暖切替			1	200	冷0.4 暖0.42	1	屋外	型番 YNP140C3N
		冷房能力	14.0 kW	暖房能力	20.0 kW						
		ガス消費量	冷房1.53m3/h	暖房1.52m3/h	冷媒封入量7.4kg						
		付属品	その他標準付属品一式								
		外形寸法	1100×500×1740H		質量	270 kg					
GHP-2	ガスヒートポンプエアコン (室内機)	型式	天井カセット4方向形			1	200	0.1	1	厨房	
		冷房能力	14.0 kW	暖房能力	16.0 kW						
		付属品	ワイヤードリモコン、その他標準付属品一式								
		外形寸法	1520×650×295H		質量						
GH-1	都市ガス式放射暖房機	型式	ガス焚型、放射暖房機			1	100	0.1	4	体育館	型番 CH-17U3-45
		定格入力	19.8 kW	ガス消費量	19.8 kW						
		付属品	鋼板装架台、その他標準付属品一式								
		外形寸法	4500×430×500H		質量						
FF-1	都市ガス式FF暖房機	型式	ガス焚型、FF式温風暖房機			1	100	0.1	1	陶芸室	型番 TS-130FFP-S
		暖房能力	15.0 kW	ガス消費量	1.44 m3/h						
		付属品	薄型給排気トップ、SUS製カバー、その他標準付属品一式								
		外形寸法	600×390×1750H		質量						
FF-2	都市ガス式FF暖房機	型式	ガス焚型、FF式温風暖房機			1	100	0.1	1	仲よし会室	型番 THU-F114G-S
		暖房能力	11.8 kW	ガス消費量	1.12 m3/h						
		付属品	薄型給排気トップ、SUS製カバー、その他標準付属品一式								
		外形寸法	600×390×1750H		質量						
FF-3	都市ガス式FF暖房機	型式	ガス焚型、FF式温風暖房機			1	100	0.1	2	美術室	型番 THU-F84G-S
		暖房能力	9.5 kW	ガス消費量	0.89 M3n/h						
		付属品	薄型給排気トップ、SUS製カバー、その他標準付属品一式								
		外形寸法	600×390×1750H		質量						
FF-4	都市ガス式FF暖房機	型式	ガス焚型、FF式温風暖房機			1	100	0.1	1	クラフト室	型番 THU-F84LG-S
		暖房能力	8.9 kW	ガス消費量	0.84 m3/h						
		付属品	薄型給排気トップ、SUS製カバー、その他標準付属品一式								
		外形寸法	1200×390×850H		質量						
FF-5	都市ガス式FF暖房機	型式	ガス焚型、FF式温風暖房機			1	100	0.1	2	休憩室 事務室	型番 MD-A356ATFF
		暖房能力	4.2 kW	ガス消費量	0.39 m3/h						
		付属品	薄型給排気トップ、その他標準付属品一式								
		外形寸法	650×390×850H		質量						
RACT-1	ルームエアコン (屋外機)	型式	冷暖房切替			1	100	冷0.6 暖0.5	1	屋外	参考型番 CU-225CF
		冷房能力	2.2 kW	暖房能力	2.2 kW						
		付属品	樹脂製エアコン架台、その他標準付属品一式								
		外形寸法	530×655×275H		質量						
RACT-1	ルームエアコン (室内機)	型式	壁掛形			1	100	0.1	1	休憩室	
		冷房能力	2.20 kW	暖房能力	2.20 kW						
		付属品	ワイヤレスリモコン、その他標準付属品一式								
		外形寸法	285×780×239H		質量						

冷暖房設備 機器表 (取外し)

記号	名称	仕様	電気容量 (50Hz)			非常電源	台数	設置場所	備考		
			φ	V	kW						
ACP-5	空冷式パッケージ形 空気調和機 (屋外機)	型式	冷暖切替			3	200	冷4.37 暖4.08	1	屋外	型番 ROA-AP1405H
		冷房能力	12.5 kW	暖房能力	14.0 kW						
		付属品	その他標準付属品一式								
		外形寸法			質量						
ACP-5	空冷式パッケージ形 空気調和機 (室内機)	型式	天井カセット4方向形			1	200	0.1	1	美術室	
		冷房能力	12.5 kW	暖房能力	14.0 kW						
		付属品	防振架台、ワイヤードリモコン、その他標準付属品一式								
		外形寸法			質量						
ACP-6	空冷式パッケージ形 空気調和機 (屋外機)	型式	冷房専用			3	200	冷3.3	1	屋外	型番 ROA-RP1403 (2019年製)
		冷房能力	12.5 kW	暖房能力							
		付属品	その他標準付属品一式								
		外形寸法			質量						
ACP-6	空冷式パッケージ形 空気調和機 (室内機)	型式	天井形、厨房用			1	200	0.1	1	厨房	
		冷房能力	12.5 kW	暖房能力							
		付属品	防振架台、ワイヤードリモコン、その他標準付属品一式								
		外形寸法			質量						
ACP-7	空冷式パッケージ形 空気調和機 (屋外機)	型式	冷暖切替			3	200	冷3.1 暖2.8	1	屋外	型番 ROA-RP1123HS (2019年製)
		冷房能力	10.0 kW	暖房能力	11.2 kW						
		付属品	防振架台、その他標準付属品一式								
		外形寸法			質量						
ACP-7	空冷式パッケージ形 空気調和機 (室内機)	型式	天井形			1	200	0.1	1	陶芸室	
		冷房能力	10.0 kW	暖房能力	11.2 kW						
		付属品	防振架台、ワイヤードリモコン、その他標準付属品一式								
		外形寸法			質量						
ACP-8	空冷式パッケージ形 空気調和機 (屋外機)	型式	冷暖切替			3	200	冷2.7 暖2.3	1	屋外	型番 ROA-RP801H (2019年)
		冷房能力	7.1 kW	暖房能力	7.1 kW						
		付属品	その他標準付属品一式								
		外形寸法			質量						
ACP-8	空冷式パッケージ形 空気調和機 (室内機)	型式	壁掛形			1	200	0.1	1	クラフト室	型番 AIK-RP803H (2019年)
		冷房能力	7.1 kW	暖房能力	7.1 kW						
		付属品	ワイヤードリモコン、その他標準付属品一式								
		外形寸法			質量						
ACP-9	空冷式パッケージ形 空気調和機 (屋外機)	型式	冷暖切替			3	200	冷1.61 暖1.52	1	屋外	型番 ROA-AP565H
		冷房能力	5.0 kW	暖房能力	5.6 kW						
		付属品	防振ゴム、壁掛ブラケット(溶融亜鉛メッキ鋼製)、その他標準付属品一式								
		外形寸法			質量						
ACP-9	空冷式パッケージ形 空気調和機 (室内機)	型式	壁掛形			1	200	0.1	1	仲よし会室	型番 AIK-AP565H
		冷房能力	5.0 kW	暖房能力	5.6 kW						
		付属品	ワイヤードリモコン、その他標準付属品一式								
		外形寸法			質量						


山梨大学施設・環境部				山梨大学 (武田1(附特)) 校舎 (II期)改修設計業務		工事名 山梨大学 (武田1(附特))校舎(II期)改修機械設備工事 計画名 冷暖房設備 機器表(改修前)	
担当		設計者	山梨大学 (武田1(附特)) 校舎 (II期)改修設計業務	編尺	A1 : - A3 : -	図面番号	M- 04
		検査員	湯本 春日				
		設計担当	チャン				
		担当者					

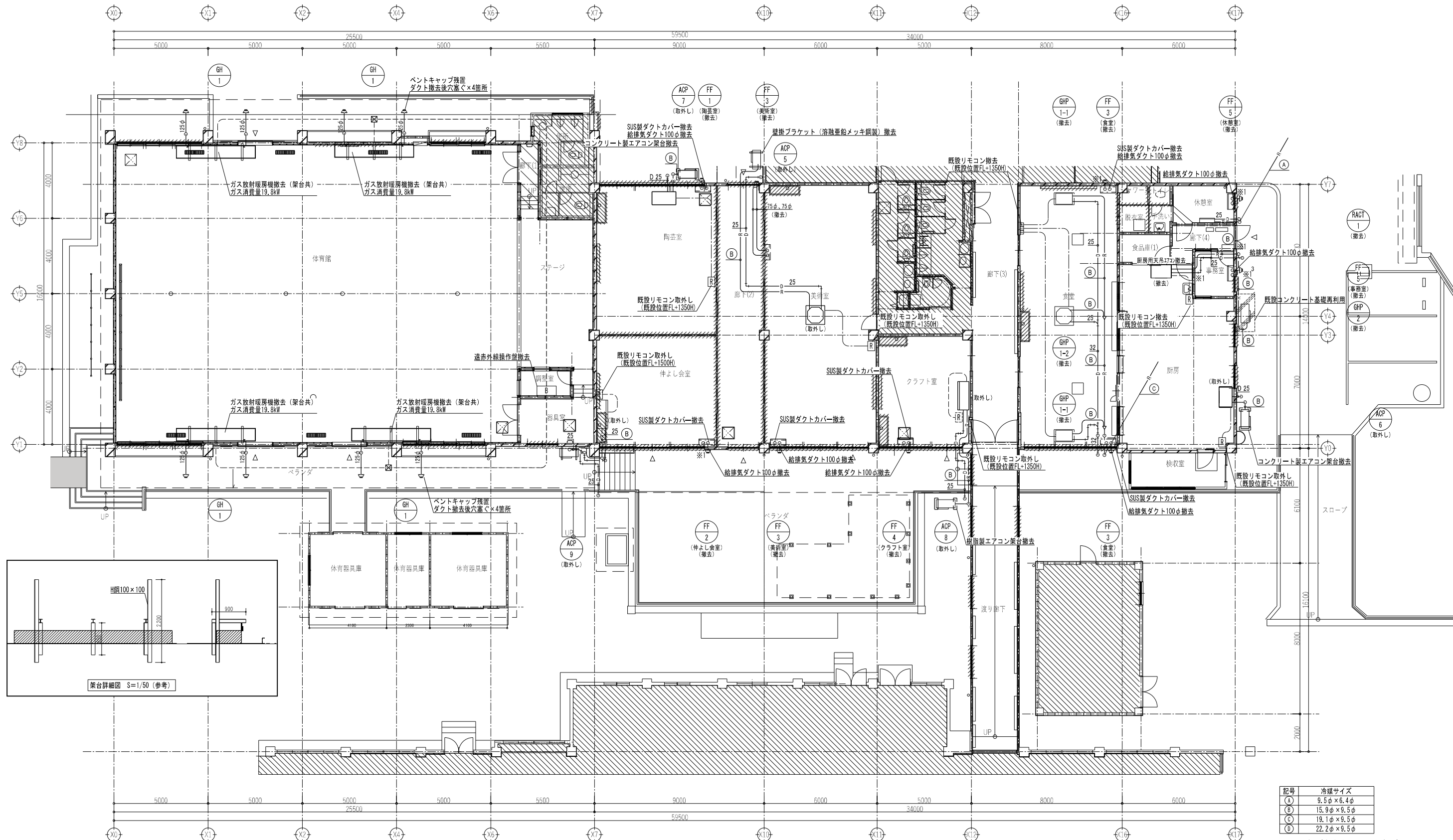
冷暖房設備 機器表 (新設)

記号	名称	仕様	電気容量 (50Hz)			非常電源	台数	設置場所	備考
			φ	V	kW				
ACP-1	空冷式パッケージ形	型式 冷暖切替、高調波抑制装置	3	200	冷2.01		4	屋外	コンクリート基礎 (建築工事)
	空気調和機	冷房能力 10.0 kW 暖房能力 11.2 kW			暖2.2				
	(屋外機)	付属品 防振ゴム、その他標準付属品一式							
	空冷式パッケージ形	型式 天井形、スポットバザーカ	1	200	0.6		4	体育館	
	空気調和機	冷房能力 10.0 kW 暖房能力 11.2 kW							
	(室内機)	付属品 防振ゴム、床置架台 (H=1000)、防球カバー、ドレンパン ワイヤードリモコン、その他標準付属品一式							
ACP-2	空冷式パッケージ形	型式 冷暖切替、高調波抑制装置	1	200	冷1.76		1	屋外	
	空気調和機	冷房能力 7.1 kW 暖房能力 8.0 kW			暖1.77				
	(屋外機)	付属品 防振ゴム、壁掛ブラケット (溶融垂鉛メッキ鋼製)、風向ガイド その他標準付属品一式							
	空冷式パッケージ形	型式 天井カセット4方向形	1	200	0.1		1	作業学習室 (1)	
	空気調和機	冷房能力 7.1 kW 暖房能力 8.0 kW							
	(室内機)	付属品 防振吊金物、標準パネル、標準フィルター ワイヤードリモコン、その他標準付属品一式							
ACP-3	空冷式パッケージ形	型式 冷暖切替、高調波抑制装置、同時ツイン	3	200	冷2.89		1	屋上	既設コンクリート基礎再利用
	空気調和機	冷房能力 12.5 kW 暖房能力 14.0 kW			暖2.88				
	(屋外機)	付属品 防振架台、ワイヤードリモコン、その他標準付属品一式							
ACP-3-1	空冷式パッケージ形	型式 天井カセット4方向形	1	200	0.1		1	食堂	
	空気調和機	冷房能力 7.1 kW 暖房能力 8.0 kW							
	(室内機)	付属品 防振吊金物、標準フィルター、その他標準付属品一式							
ACP-3-2	空冷式パッケージ形	型式 床置形	1	200	0.1		1	食堂	
	空気調和機	冷房能力 7.1 kW 暖房能力 8.0 kW							
	(室内機)	付属品 木台・固定用品セット、標準フィルター、その他標準付属品一式							
ACP-4	空冷式パッケージ形	型式 冷暖切替、高調波抑制装置、同時ツイン	3	200	冷9.4		1	屋外	既設コンクリート基礎再利用
	空気調和機	冷房能力 25.0 kW 暖房能力 28.0 kW			暖8.9				
	(屋外機)	付属品 防振ゴム、風向ガイド、ワイヤードリモコン、その他標準付属品一式							
	空冷式パッケージ形	型式 天井吊形、厨房用	1	200	0.2		2	厨房	
	空気調和機	冷房能力 12.5 kW 暖房能力 14.0 kW							
	(室内機)	付属品 防振吊金物、オイルミストフィルター スポットダクト100φ×2本、ドレンアップメカ、その他標準付属品一式							
RAC-1	ルームエアコン	型式 冷暖房切替	1	100	冷0.7		1	屋外	コンクリート基礎 (建築工事)
	(屋外機)	冷房能力 2.2 kW 暖房能力 2.2 kW			暖0.5				
		付属品 防振ゴム、風向ガイド、その他標準付属品一式							
	ルームエアコン	型式 壁掛形	1	100			1	事務室	
	(室内機)	冷房能力 2.20 kW 暖房能力 2.20 kW							
		付属品 標準フィルター、ワイヤレスリモコン、ドレンアップキット その他標準付属品一式							
RAC-2	ルームエアコン	型式 冷暖房切替	1	100	冷0.7		1	屋外	コンクリート基礎 (建築工事)
	(屋外機)	冷房能力 2.2 kW 暖房能力 2.2 kW			暖0.5				
		付属品 防振ゴム、風向ガイド、その他標準付属品一式							
	ルームエアコン	型式 壁掛形	1	100			1	休憩室	
	(室内機)	冷房能力 2.2 kW 暖房能力 2.2 kW							
		付属品 標準フィルター、ワイヤレスリモコン、ドレンアップキット その他標準付属品一式							
	屋外用防振ゴム						3		
	壁掛ブラケット	溶融垂鉛メッキ鋼製					1		

冷暖房設備 機器表 (再取付)

記号	名称	仕様	電気容量 (50Hz)			非常電源	台数	設置場所	備考
			φ	V	kW				
ACP-5	空冷式パッケージ形	型式 冷暖切替	3	200	冷4.37		1	屋外	コンクリート基礎 (建築工事)
	空気調和機	冷房能力 12.5 kW 暖房能力 14.0 kW			暖4.08				
	(屋外機)	付属品 その他標準付属品一式							
	空冷式パッケージ形	型式 天井カセット4方向形	1	200	0.1		1	美術室 (2)	
	空気調和機	冷房能力 12.5 kW 暖房能力 14.0 kW							
	(室内機)	付属品 防振吊金物、ワイヤードリモコン、その他標準付属品一式							
ACP-6	空冷式パッケージ形	型式 厨房専用	3	200	冷3.3		1	屋外	コンクリート基礎 (建築工事)
	空気調和機	冷房能力 12.5 kW							
	(屋外機)	付属品 その他標準付属品一式							
	空冷式パッケージ形	型式 天井形、厨房用	1	200	0.1		1	厨房	
	空気調和機	冷房能力 12.5 kW							
	(室内機)	付属品 防振吊金物、ワイヤードリモコン、その他標準付属品一式							
ACP-7	空冷式パッケージ形	型式 冷暖切替	3	200	冷3.1		1	屋外	コンクリート基礎 (建築工事)
	空気調和機	冷房能力 10.0 kW 暖房能力 11.2 kW			暖2.8				
	(屋外機)	付属品 防振架台、その他標準付属品一式							
	空冷式パッケージ形	型式 天井形	1	200	0.1		1	作業学習室 (2)	
	空気調和機	冷房能力 10.0 kW 暖房能力 11.2 kW							
	(室内機)	付属品 防振吊金物、ワイヤードリモコン、その他標準付属品一式							
ACP-8	空冷式パッケージ形	型式 冷暖切替	3	200	冷2.7		1	屋外	型番 ROA-RP801H (2019年)
	空気調和機	冷房能力 7.1 kW 暖房能力 7.1 kW			暖2.3				
	(屋外機)	付属品 その他標準付属品一式							
	空冷式パッケージ形	型式 壁掛形	1	200	0.1		1	仲よし会室	型番 AIK-RP803H (2019年)
	空気調和機	冷房能力 7.1 kW 暖房能力 7.1 kW							
	(室内機)	付属品 ワイヤードリモコン、その他標準付属品一式							
ACP-9	空冷式パッケージ形	型式 冷暖切替	3	200	冷1.61		1	屋外	型番 ROA-AP565H
	空気調和機	冷房能力 5.0 kW 暖房能力 5.6 kW			暖1.52				
	(屋外機)	付属品 防振ゴム、壁掛ブラケット (溶融垂鉛メッキ鋼製)、 その他標準付属品一式							
	空冷式パッケージ形	型式 壁掛形	1	200	0.1		1	美術室 (1)	型番 AIK-AP565H
	空気調和機	冷房能力 5.0 kW 暖房能力 5.6 kW							
	(室内機)	付属品 ワイヤードリモコン、その他標準付属品一式							

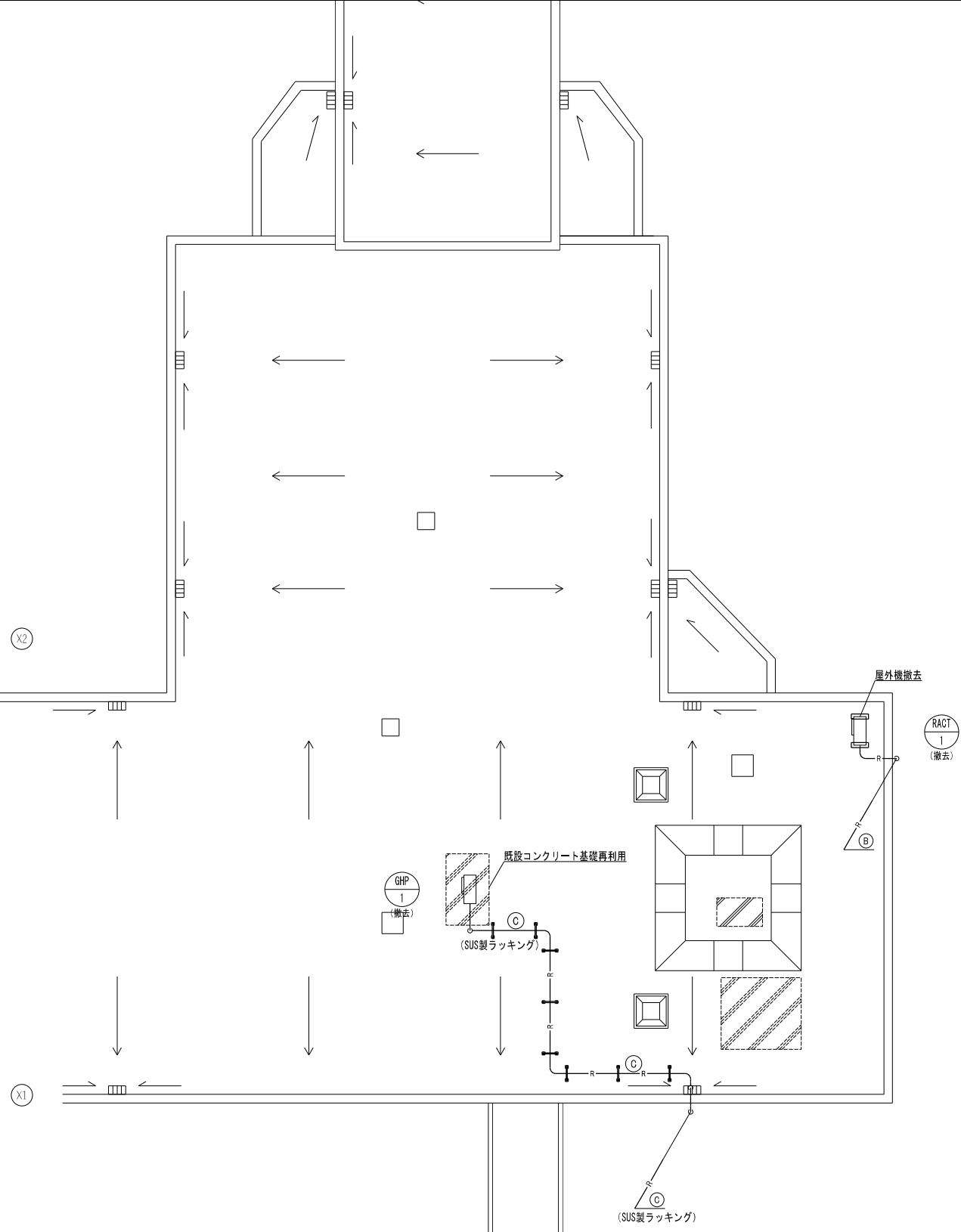
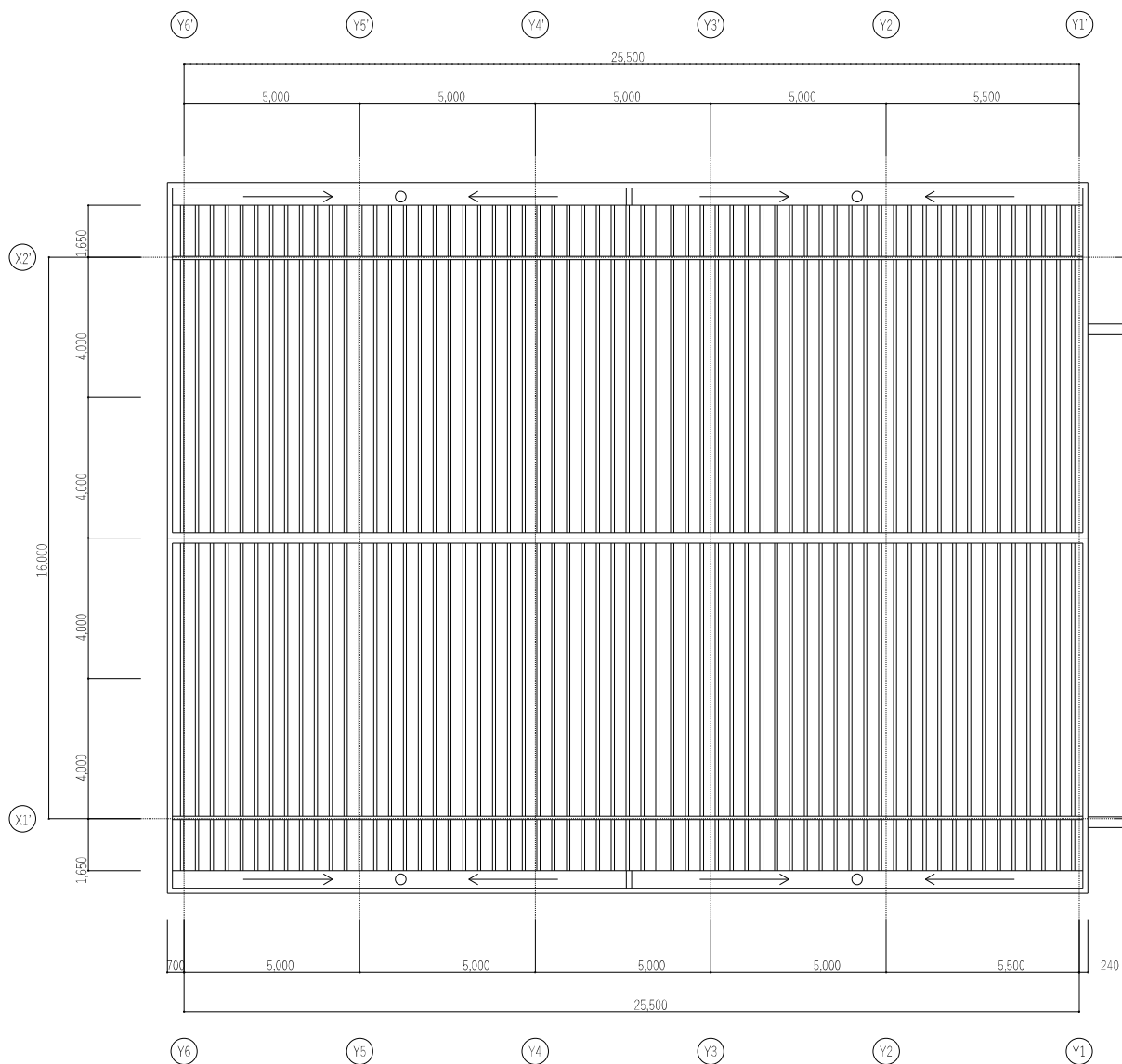
山梨大学施設・環境部		 設計者 山梨大学 (武田1 (附特)) 校舎 業務名 (II期) 改修設計業務		工事名 山梨大学 (武田1 (附特)) 校舎 (II期) 改修機械設備工事 図面名 冷暖房設備 機器表 (改修後)
担当		設計者 山梨大学 氏名 春日 仁一	編尺 A1 : ー A3 : ー	図面番号 M- 05
		検査員 湯本 春日 設計担当 春日 仁一 担当者 チャン		



記号	冷暖サイズ
(A)	9.5φ × 6.4φ
(B)	15.9φ × 9.5φ
(C)	19.1φ × 9.5φ
(D)	22.2φ × 9.5φ

※1: モルタル穴埋め (150φ-120L) を示す。
(本工事) × 6箇所
※屋内ドレン管は冷暖共巻とする。
精記なき配管は全て露出 (合成樹脂カバー) とする。

山梨大学施設・環境部		AECA 株式会社 エーシーエー設計 一級建築士事務所登録 (長野) 長野77312号 管理建築士 一級建築士登録 第208750号 関口 浪男 〒381-0012 長野市御殿2360番地4 TEL 026(286)4300		工事名 山梨大学 (武田1 (附特)) 校舎 (II期) 改修機械設備工事 計画名 冷暖房設備 平面図 (改修前)	
担当		設計者	山梨大学 (武田1 (附特)) 校舎 一級建築士登録 第323511号 春日 仁一	縮尺	A1 : 1/100 A3 : 1/200
		検査員	湯本 春日	図面番号	M-06



記号	冷暖サイズ
(A)	9.5φ × 6.4φ
(B)	15.9φ × 9.5φ
(C)	19.1φ × 9.5φ
(D)	22.2φ × 9.5φ

※1: モルタル穴埋め (150φ-120L) を示す。
(本工事) × 6箇所
※屋内ドレン管は冷媒共巻とする。
精記なき配管は全て露出 (合成樹脂カバー) とする。

山梨大学施設・環境部

AEI 株式会社 エーエーエーエー

山梨大学 (武田 1 (附特)) 校舎
(II期) 改修設計業務

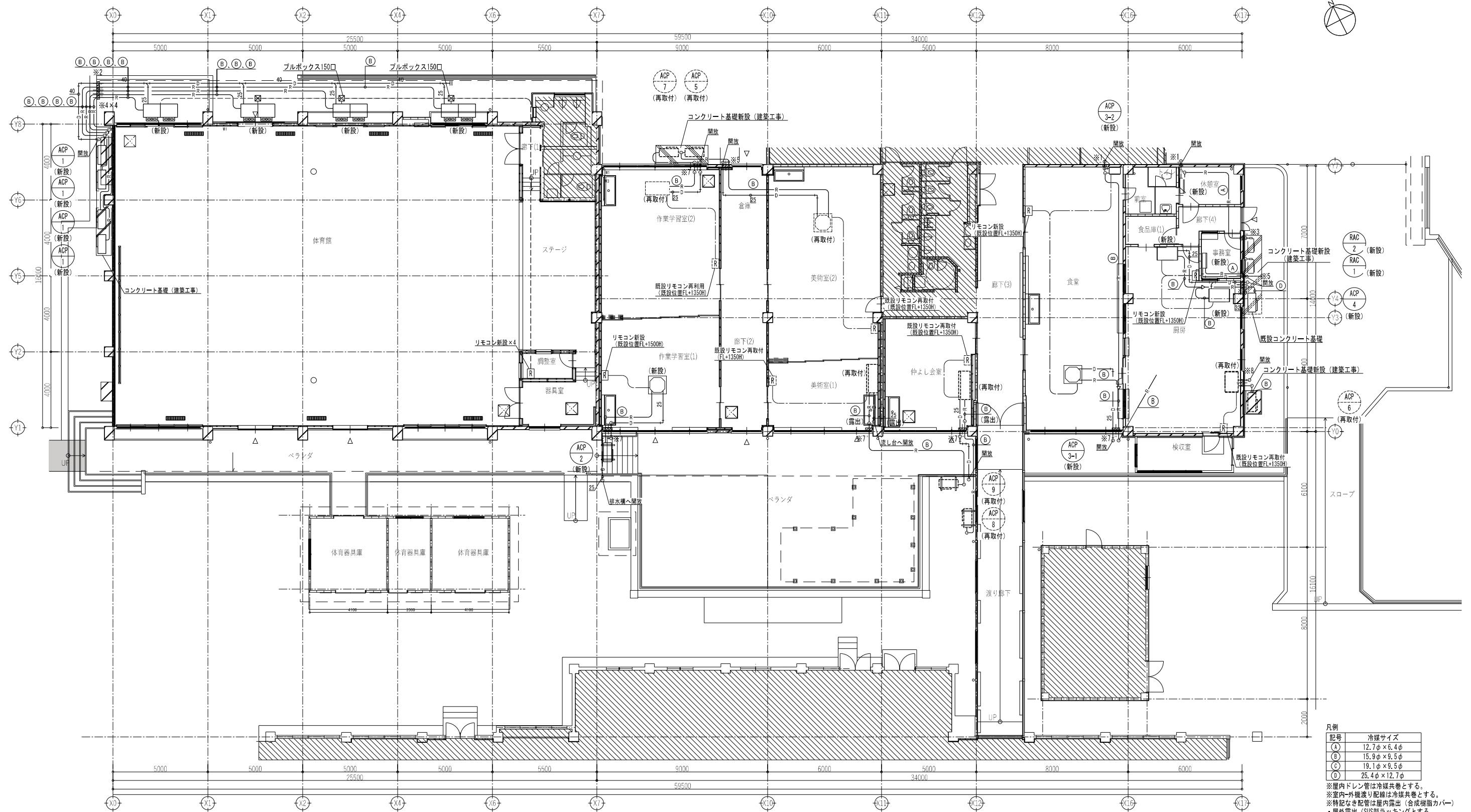
工事名 山梨大学 (武田 1 (附特)) 校舎 (II期) 改修機械設備工事
図面名 冷暖房設備 平面図 (改修前)

担当

役名	氏名
検査員	湯本
設計担当	春日
担当	チャン

設計者	氏名
一級建築士登録 第323511号	春日 仁一

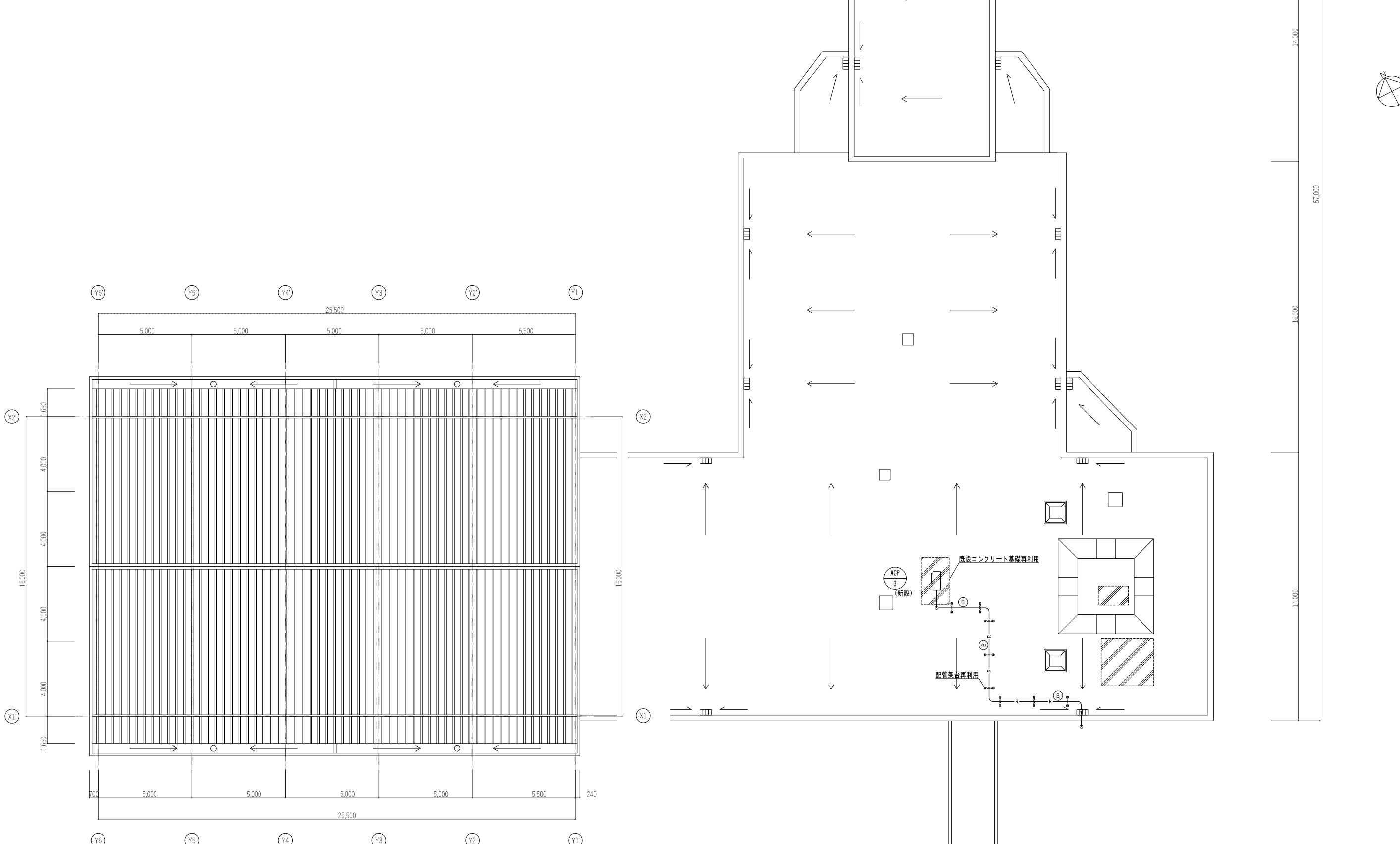
縮尺	図面番号
A1 : 1/100 A3 : 1/200	M-07



- 凡例
- | 記号 | 冷媒サイズ |
|-----|-------------|
| (A) | 12.7φ×6.4φ |
| (B) | 15.9φ×9.5φ |
| (C) | 19.1φ×9.5φ |
| (D) | 25.4φ×12.7φ |
- ※屋内ドレン管は冷媒共巻とする。
 ※室内-外機渡り配線は冷媒共巻とする。
 ※特記なき配管は屋内露出(合成樹脂カバー)
 ・屋外露出(SUS製ラッキングとする。
 ※リモコン配線はCVV 1.25mm²-3C天井内配線(PF16)
 ※屋内外渡り配線はCVV2.0mm²-3C
 ※1: コア抜き50φ-150L
 ※2: コア抜き75φ-150L
 ※3: コア抜き100φ-150L
 ※4: コア抜き125φ-150L
 ※5: コア抜き150φ-150L
 ※6: コア抜き175φ-150L
 ※7: パネル開口150φ
 ※8: 既存コア抜き利用を示す。

凡例
 — 太線実線は新設
 - - - 細線は既存利用

山梨大学施設・環境部		AE&I 株式会社 一級建築士事務所 (長野) W3712号 管理棟 1F 長野市豊原2360番地4 TEL 026(286)4300 〒381-0012 長野市豊原2360番地4 TEL 026(286)4300		設計者 山梨大学 (武田1 (附特)) 校舎 (二期) 改修設計業務 設計者氏名 春日 仁一	工事名 山梨大学 (武田1 (附特)) 校舎 (二期) 改修機械設備工事 平面図 (改修後) 図面番号 M-08
担当	担当 湯本 春日 日彦 設計者氏名 湯本 春日 日彦	設計者氏名 春日 仁一 縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200	縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200		



記号	冷媒サイズ
(A)	12.7φ×6.4φ
(B)	15.9φ×9.5φ
(C)	19.1φ×9.5φ
(D)	25.4φ×12.7φ

※屋内ドレン管は冷媒共巻とする。
 ※室内-外機渡り配管は冷媒共巻とする。
 ※特記なき配管は屋内露出（合成樹脂カバー）
 ・屋外露出（SUS製ラッキングとする）
 ※リモコン配線はCVV 1.25mm²-3C天井内転がし
 ※屋内外渡り配線はCVV2.0mm²-3C

凡例
 太線実線は新設
 細線実線は既存利用
 細線破線は既存利用

山梨大学施設・環境部		AEI 株式会社 エーエーエー設計 一級建築士事務所登録（長野）第77312号 管理建築士 一級建築士登録 第208750号 関口 浪男 〒381-0012 長野市船場2360番地4 TEL 026(286)4300		設計者 山梨大学（武田1（附特））校舎 業務名 (Ⅱ期)改修設計業務	工事名 山梨大学（武田1（附特））校舎（Ⅱ期）改修機械設備工事 計画名 冷暖房設備 屋上平面図（改修後）
担当	検査員 湯本 春日 設計担当 春日 昌彦 担当 春日 昌彦	設計者 一級建築士登録 第323511号 春日 昌彦	縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200	図面番号 M- 09	

換気設備 機器表 (撤去)

記号	名称	仕様	電気容量 (50Hz)			非常電源	台数	設置場所	備考
			φ	V	W				
F-1	片吸込型シロココファン	型式 床置型、排気用、厨房用 仕様 #4×180m3/min×30mmAg 付属品 防振架台	3	200	3.7		1	屋上	
F-2	片吸込型シロココファン	型式 床置型、給気用、厨房用、屋外設置 仕様 #4×180m3/min×30mmAg 付属品 防振架台	3	200	3.7		1	屋上	
F-3	ミニシロココファン	型式 天井型、排気用 仕様 #1 1/4×12m3/min×15mmAg 付属品	1	100	0.2		1	脱衣室	
F-4	天井換気扇	型式 低騒音型、排気用 仕様 6m3/min×8mmAg 付属品	1	100	0.1		3	トイレ、食品庫 (1) 事務室	
F-5	有圧換気扇	型式 壁掛型、排気用 仕様 羽根径30cm 1720m3/h 付属品 ウェザーカバー30cm	1	100	0.1		2	陶芸室、クラフト室	
F-6	有圧換気扇	型式 壁掛型、排気用 仕様 羽根径20cm 570m3/h 付属品 ウェザーカバー20cm	1	100	0.1		2	休憩室、事務室	

換気設備 機器表 (取外し・再取付)

記号	名称	仕様	電気容量 (50Hz)			非常電源	台数	設置場所	備考
			φ	V	kW				
FE-2	有圧換気扇	型式 壁掛型、電動シャッター付、排気用 仕様 羽根径50cm 5250 m3/h 付属品 ウェザーカバー50cm	3	200	0.3		3	体育館	
F-7	送風機	型式 壁掛型、リモコンタイプ 仕様 2850m3/h 付属品	1	100	0.1		11	仲よし会室、食堂 休憩室、事務室	

火気使用による換気計算

設置場所	器具番号	器具名	燃料種別	ガス式/電気式			火気使用による有効換気量 m3/h	フード面速による換気量				決定換気量 m3/h	備考	
				理論換気量 k m3/(kW・h)	燃料消費量 Q kW	排気装置別定数		排気フード			フード面速 (m/sec)			排気フードの面速による有効換気量 m3/h
								寸法 L (m)	W (m)	面積 (㎡)				
厨房	12	回転釜	13A	0.93	36.00	40	1339	1.30	1.00	1.30	0.3	1,404.0	1,450	[A]
厨房	11	ティルティングパン	13A	0.93	27.90	40	1038							
厨房	16	立体炊飯機	13A	0.93	20.2	40	751							
						計	1789	2.30	1.10	2.53	0.3	2,732.4	2,750	[B]
厨房	14	スチコン	13A	0.93	33.70	40	1254							
厨房	15	フライヤー	13A	0.93	10.70	40	398							
厨房	13	ガスコンロ	13A	0.93	26.70	40	993							
						計	2645	2.90	1.10	3.19	0.3	3,445.2	3,500	[C]
厨房	27	洗浄機	電気		2.26	30	68	1.20	1.00	1.20	0.3	1,296.0	1,300	[D]
												合計	9,000	


換気設備 機器表 (新設)

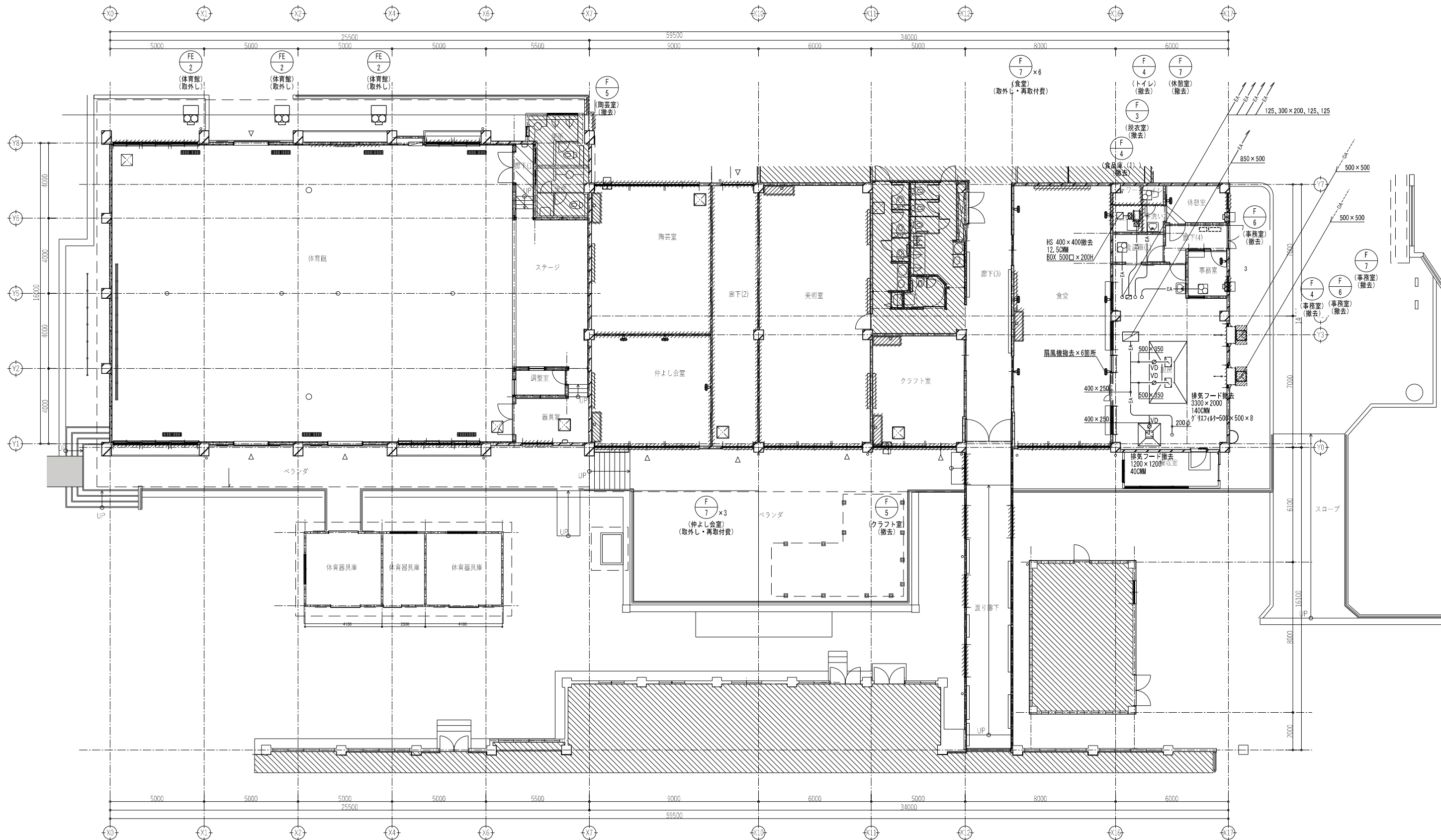
記号	名称	仕様	電気容量 (50Hz)			非常電源	台数	設置場所	備考
			φ	V	W				
HEU-1	全熱交換器ユニット	型式 天井カセット形、自動換気切替機能付 (全熱交換率: 冷房64%、暖房70%) 仕様 130 m3/h × 80 Pa 付属品 防振吊金物、専用操作スイッチ、VC100φ×2 (SUS製、丸形防風板付、防虫網、指定色)	1	100	70		1	作業学習室 (2)	
HEU-2	全熱交換器ユニット	型式 天井カセット形、自動換気切替機能付 (全熱交換率: 冷房64%、暖房70%) 仕様 130 m3/h × 80 Pa 付属品 防振吊金物、専用操作スイッチ、VC100φ×2 (SUS製、丸形防風板付、防虫網、指定色)	1	100	70		1	作業学習室 (1)	
HEU-3	全熱交換器ユニット	型式 天井カセット形、自動換気切替機能付 (全熱交換率: 冷房64%、暖房70%) 仕様 130 m3/h × 80 Pa 付属品 防振吊金物、専用操作スイッチ、VC100φ×2 (SUS製、丸形防風板付、防虫網、指定色)	1	100	70		1	美術室 (1)	
HEU-4	全熱交換器ユニット	型式 天井カセット形、自動換気切替機能付 (全熱交換率: 冷房64%、暖房70%) 仕様 130 m3/h × 80 Pa 付属品 防振吊金物、専用操作スイッチ、VC100φ×2 (SUS製、丸形防風板付、防虫網、指定色)	1	100	70		1	仲よし会室	
HEU-5	全熱交換器ユニット	型式 天井カセット形、自動換気切替機能付 (全熱交換率: 冷房60%、暖房67%) 仕様 470 m3/h × 80 Pa 付属品 防振吊金物、専用操作スイッチ、VC200φ×2 (SUS製、丸形防風板付、防虫網、指定色)	1	100	200		1	食堂	
HEU-6	全熱交換器ユニット	型式 壁掛形、1バイブタイプ (全熱交換率: 冷房41%、暖房51%) 仕様 40 m3/h × 30 Pa 付属品 専用操作スイッチ、給排水パイプ114φ、専用VC114φ (SUS製、丸形、防虫網)	1	100	20		1	事務室	
HEU-7	全熱交換器ユニット	型式 壁掛形、2バイブタイプ (全熱交換率: 冷房54%、暖房59%) 仕様 90 m3/h × 50 Pa 付属品 専用操作スイッチ、給排水パイプ75φ×2、専用VC75φ×2 (SUS製、丸形、防虫網)	1	100	40		1	休憩室	
HEU-8	全熱交換器ユニット	型式 天井カセット形、自動換気切替機能付 (全熱交換率: 冷房60%、暖房67%) 仕様 420 m3/h × 80 Pa 付属品 防振吊金物、専用操作スイッチ、VC200φ×2 (SUS製、丸形防風板付、防虫網、指定色)	1	100	200		1	美術室 (2)	
FE-1	片吸込型シロココファン	型式 床置型、排気用、厨房用、高効率電動機 仕様 #3 1/2 × 9000 m3/h × 160 Pa 付属品 防振架台	3	200	1.5		1	屋上	既設コンクリート基礎再利用
FD-1	片吸込型シロココファン	型式 床置型、給気用、屋外設置型、高効率電動機 仕様 #3 1/2 × 7700 m3/h × 100 Pa 付属品 防振架台	3	200	1.5		1	屋上	既設コンクリート基礎再利用
FV-1	天井埋込型換気扇	型式 低騒音型、人感センサー 仕様 50 m3/h × 50 Pa 付属品 防振吊金物	1	100	20		1	トイレ	人感センサーは電気設備工事
FV-2	天井埋込型換気扇	型式 低騒音型 仕様 60 m3/h × 50 Pa 付属品 防振吊金物	1	100	20		1	食品庫 (1)	

- 注1) 電気容量は参考値とする。
- 注2) 全熱交換型換気扇のスイッチは本工事とする。
- 注3) 「電気設備へ支給」明記スイッチは、電気設備に支給とし、取付・配管・渡り配線・結線は電気設備工事とする。
- 注4) 明記が無いスイッチは、材工共電気設備工事とする。

排気フード一覧 (新設)

フード番号	実換気量 m3/h	フード種類	フード寸法 W×D×H	グリッフィルター	ダンパー (高温仕様)	個数	備考
A	1,450	SUS製箱型フード	1300×1000×1100H			1	
B	2,750	SUS製箱型フード	2300×1100×1000H			1	
C	3,500	SUS製箱型フード	2900×1100×900H	両面用=500W×400H×30D×10枚	FD= 400×400	1	(ダクト - クラス Aタイプ 相当品)
D	1,300	SUS製箱型フード	1200×1000×800H			1	

担当	山梨大学施設・環境部	 AEA株式会社 エーエーエーエー設計 一級建築士事務所登録(長野) 第77312号 管理建築士 一級建築士登録 第208750号 関口 浪男 〒381-0012 長野市柳原2360番地4 TEL 026(286)4300	設計者 山梨大学(武田1(附特))校舎 (Ⅱ期)改修設計業務 設計者氏名 春日 仁一	工事名 山梨大学(武田1(附特))校舎(Ⅱ期)改修機械設備工事 図面名 換気設備 機器表(改修前・改修後)
	編尺 A1: ー A3: ー			図面番号 M- 10



凡例
 太線実線は撤去
 細破線は既存利用

山梨大学施設・環境部

AEI 株式会社 エーエーエー設計

一級建築士事務所登録(長野) 長野県 長野市 第77312号
 管理建築士 一級建築士登録 第208750号 関口 浪男
 〒381-0012 長野市御殿2360番地4 TEL 026(286)4300

設計者 山梨大学(武田1(附特))校舎
 (二期)改修設計業務

工事名 山梨大学(武田1(附特))校舎(二期)改修機械設備工事
 換気設備 平面図(改修前)

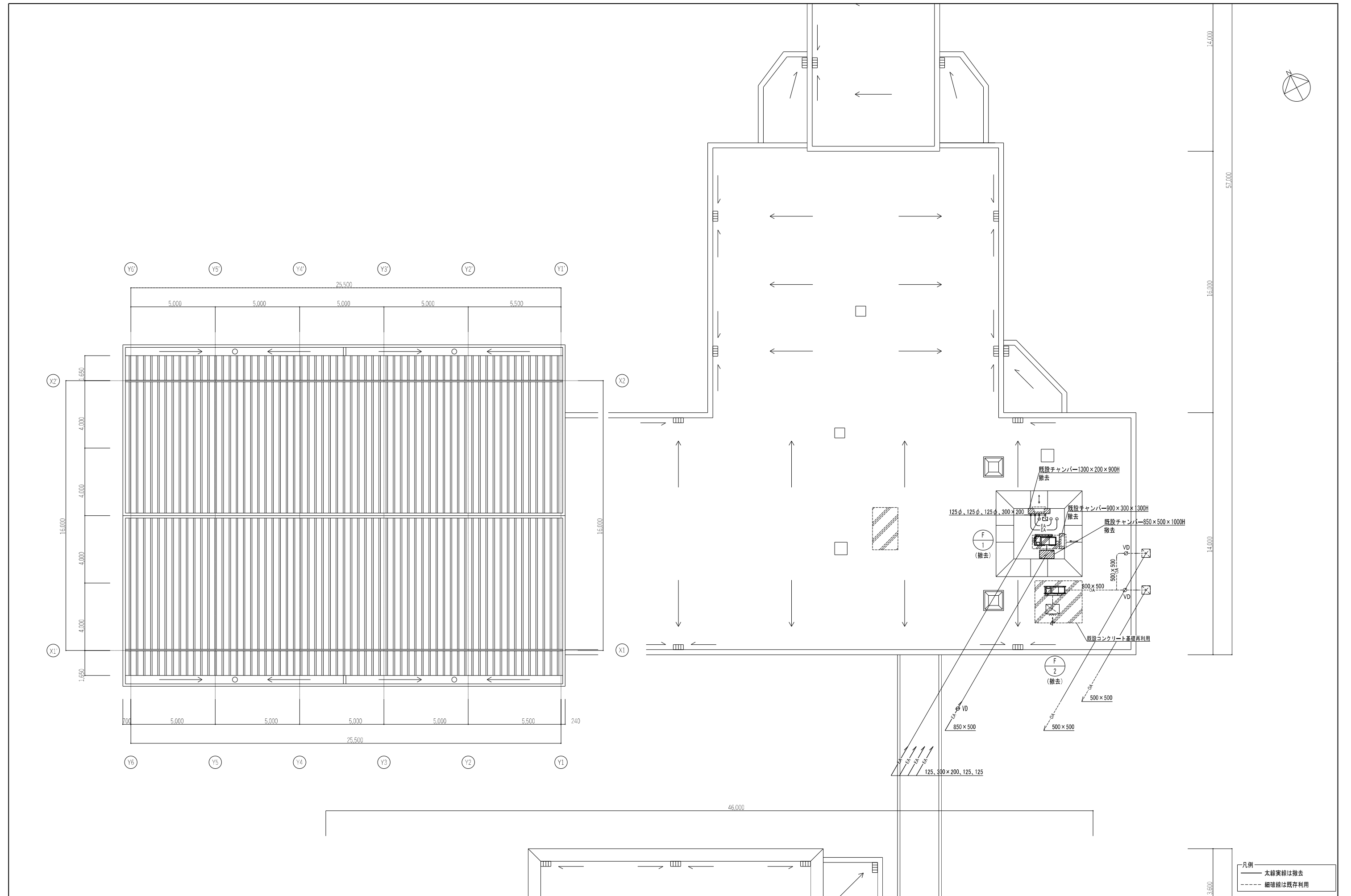
担当

検査員	設計担当	担当者	担当者
湯本	春日	ヤン	

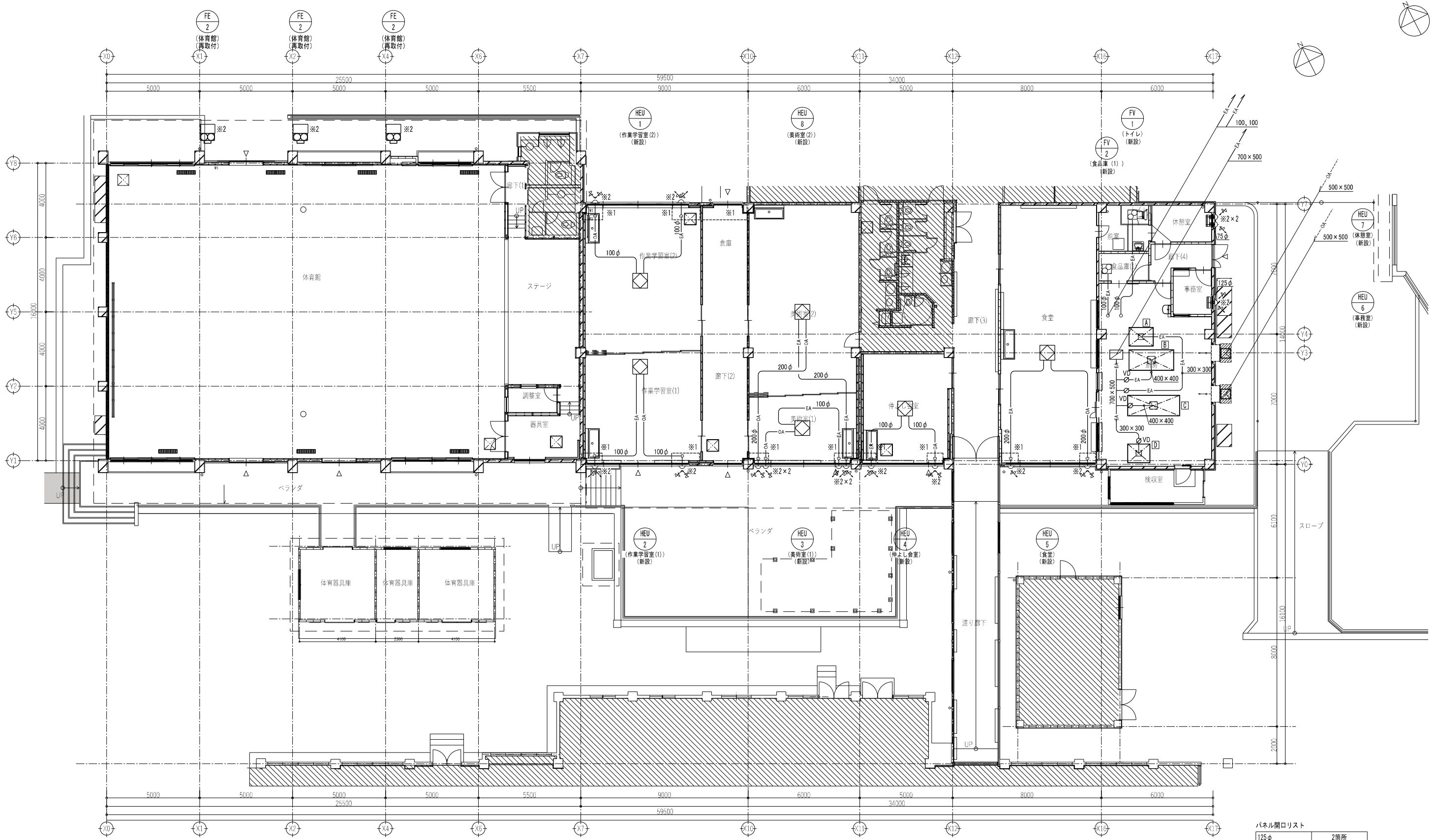
設計者 一級建築士登録
 第323511号 春日 仁一

縮尺 A1 : 1/100
 A3 : 1/200

図面番号 M- 11



山梨大学施設・環境部		AEI 株式会社 エーエーエー設計 一級建築士事務所登録(長野) 第77312号 管理建築士 関口 浪男 〒381-0012 長野市御殿2360番地4 TEL 026(286)4300		設計者 山梨大学(武田1(附特))校舎 (Ⅱ期)改修設計業務 一級建築士登録 春日 仁一 第323511号	工事名 山梨大学(武田1(附特))校舎(Ⅱ期)改修機械設備工事 計画名 換気設備 屋上平面図(改修前) 縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200	図面番号 M-12
担当	検査員 湯本 春日 設計担当 春日 仁一 担当 春日 仁一	設計者 春日 仁一	A1 : 1/100 A3 : 1/200	M-12		



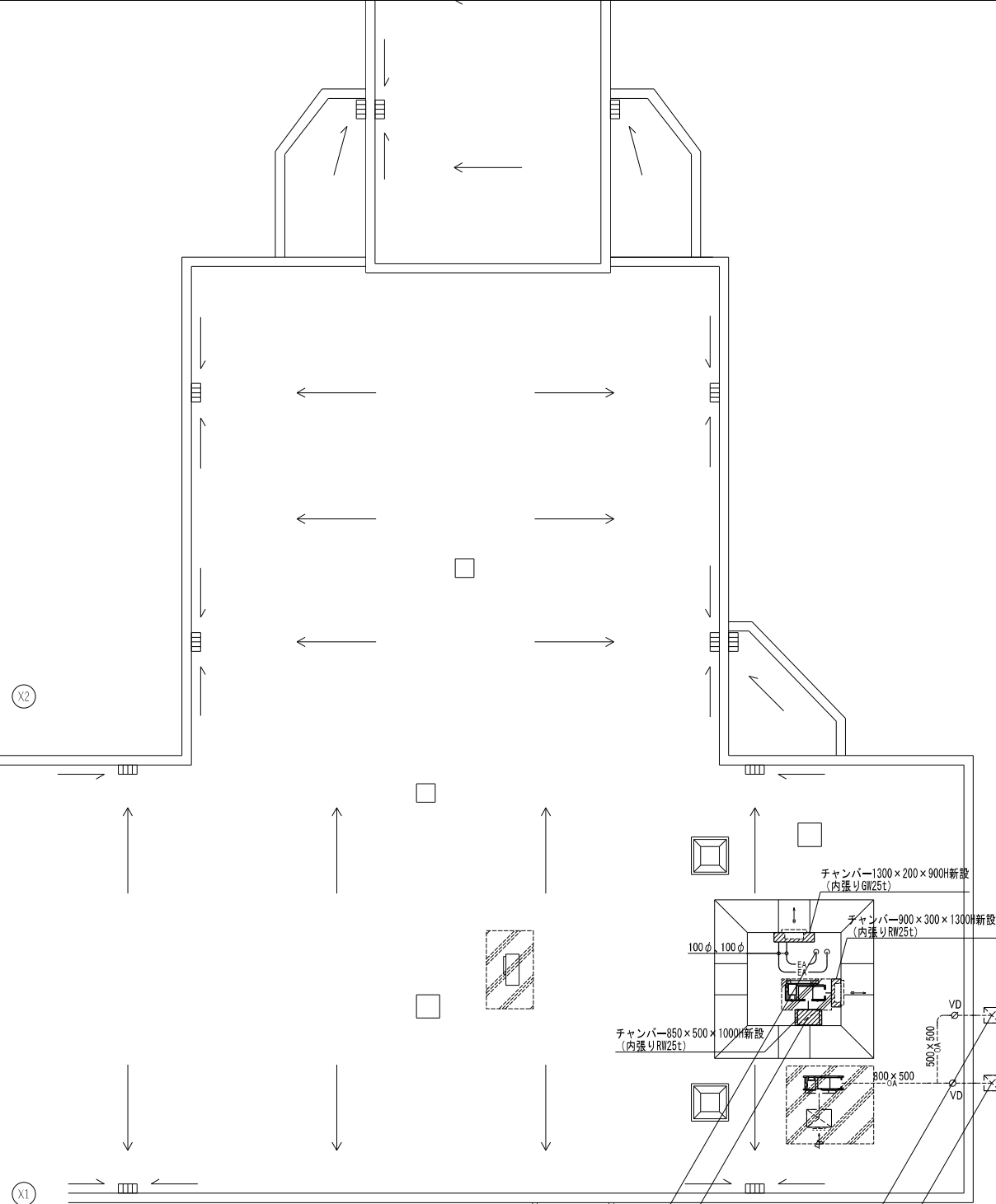
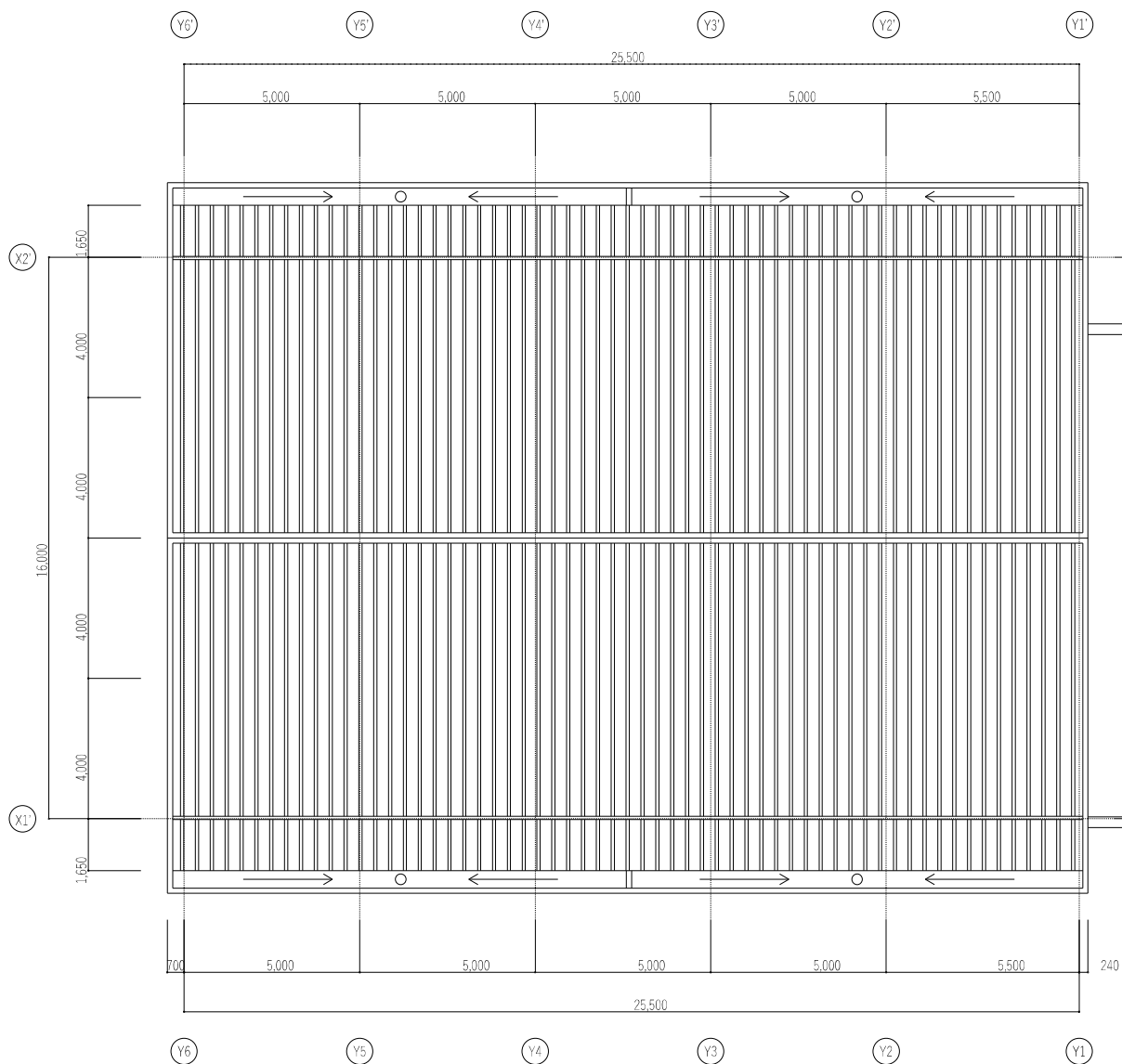
パネル開口リスト

125φ	2箇所
175φ	1箇所
200φ	6箇所
250φ	2箇所
650	3箇所

凡例
 太線実線は新設
 細破線は既存利用

※1 天井下げる範囲(外壁側VC設置用パネル設置(建築工事))
 ※2 パネル開口を示す。
 ※3 既存開口利用を示す。
 ※厨房排気ダクト保温は全てロックウールR25とする。

山梨大学施設・環境部		AEI 株式会社 エーイーエー設計 一級建築士事務所登録(長野) 第77312号 管理建築士 一級建築士登録 第208760号 関口 浪男 〒381-0012 長野市御座2360番地4 TEL 026(286)4300		設計者 山梨大学(武田1(附特))校舎 (Ⅱ期)改修設計業務 一級建築士登録 第323511号 春日 仁一	工事名 山梨大学(武田1(附特))校舎(Ⅱ期)改修機械設備工事 換気設備 平面図(改修後) 図面番号 M-13
担当	検査員 湯本 春日 設計担当 春日 仁一 担当者 チャン	設計者 山梨大学(武田1(附特))校舎 (Ⅱ期)改修設計業務 一級建築士登録 第323511号 春日 仁一	図面番号 M-13 縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200		



FE
1
(新設)

FO
1
(新設)

凡例
 太線実線は新設
 細破線は既存利用

山梨大学施設・環境部	
担当	
担当	

検査員	設計担当	担当者	担当者
湯本	春日	チャン	

AEI 株式会社 エーイーエー設計 一般建築士事務所登録(長野) 第77312号 管理建築士 第208750号 関口 浪男 〒381-0012 長野市船場2360番地4 TEL 026(286)4300		設計者 山梨大学(武田1(附特)) 校舎 (II期)改修設計業務 春日 仁一 第323511号
---	--	---


工事名 山梨大学(武田1(附特))校舎(II期)改修機械設備工事 換気設備 屋上平面図(改修後)	図面番号 A1 : 1/100 A3 : 1/200	図面番号 M-14
--	----------------------------------	--------------

記号	名称	仕様	電気容量 (50Hz)			非常電源	台数	設置場所	備考
			φ	V	kW				
WHGT-1	ガス給湯器	型式 8号、壁掛型 ガス消費量 18 kW (都市ガス13A) 寸法 320×230×720H 質量 12 kg	1	100	0.1		1	脱衣室	型番 PH-8
WHGT-2	ガス給湯器	型式 24号、壁掛型、FF式ガス給湯器 ガス消費量 52.3 kW (都市ガス13A) 寸法 350×250×640H 質量 24 kg	1	100	0.1		1	厨房	型番 GQ-2420WZD-F-2
WHGT-3	ガス給湯器	型式 32号、壁掛型、屋外 ガス消費量 69.2 kW (都市ガス13A) 寸法 350×300×630H 質量 30 kg	1	100	0.2		1	厨房	型番 GS-3200GW
WHGT-4	ガス給湯器	型式 16号、壁掛型、屋外 ガス消費量 34.1 kW (都市ガス13A) 寸法 350×170×530H 質量 14 kg	1	100	0.1		2	屋外	型番 RUX-A1611W-E
HT-1	屋内消火栓	1号消火栓、壁埋込型 ホース×1、バルブ、その他標準付属品					1	廊下 (3)	
							1	体育館	

記号	名称	仕様	電気容量 (50Hz)			非常電源	台数	設置場所	備考
			φ	V	kW				
WHE-1	電気温水器	型式 床置形、貯湯式、洗い物用 貯湯量 12 L 付属品 連結管、水排水パイプ、止水栓、固定金具、配管カバー、標準付属品一式	1	100	1.1		2	作業学習室 (1)・(2)	取付は国交省告示1447号の基準とする
							2	美術室 (1)・(2)	
							1	仲よし会室	
							1	食堂	
WHG-1	ガス給湯器	型式 50号、屋外壁掛型、高効率タイプ ガス消費量 91.9 kW (都市ガス13A) 付属品 配管カバー、メインリモコン、防風排気口、その他標準付属品一式	1	100	0.4		1	屋外	取付は国交省告示1447号の基準とする
H-1	屋内消火栓	易操作性1号消火栓、壁埋込型 ホース×1、バルブ、その他標準付属品					1	廊下 (3)	
							1	体育館	

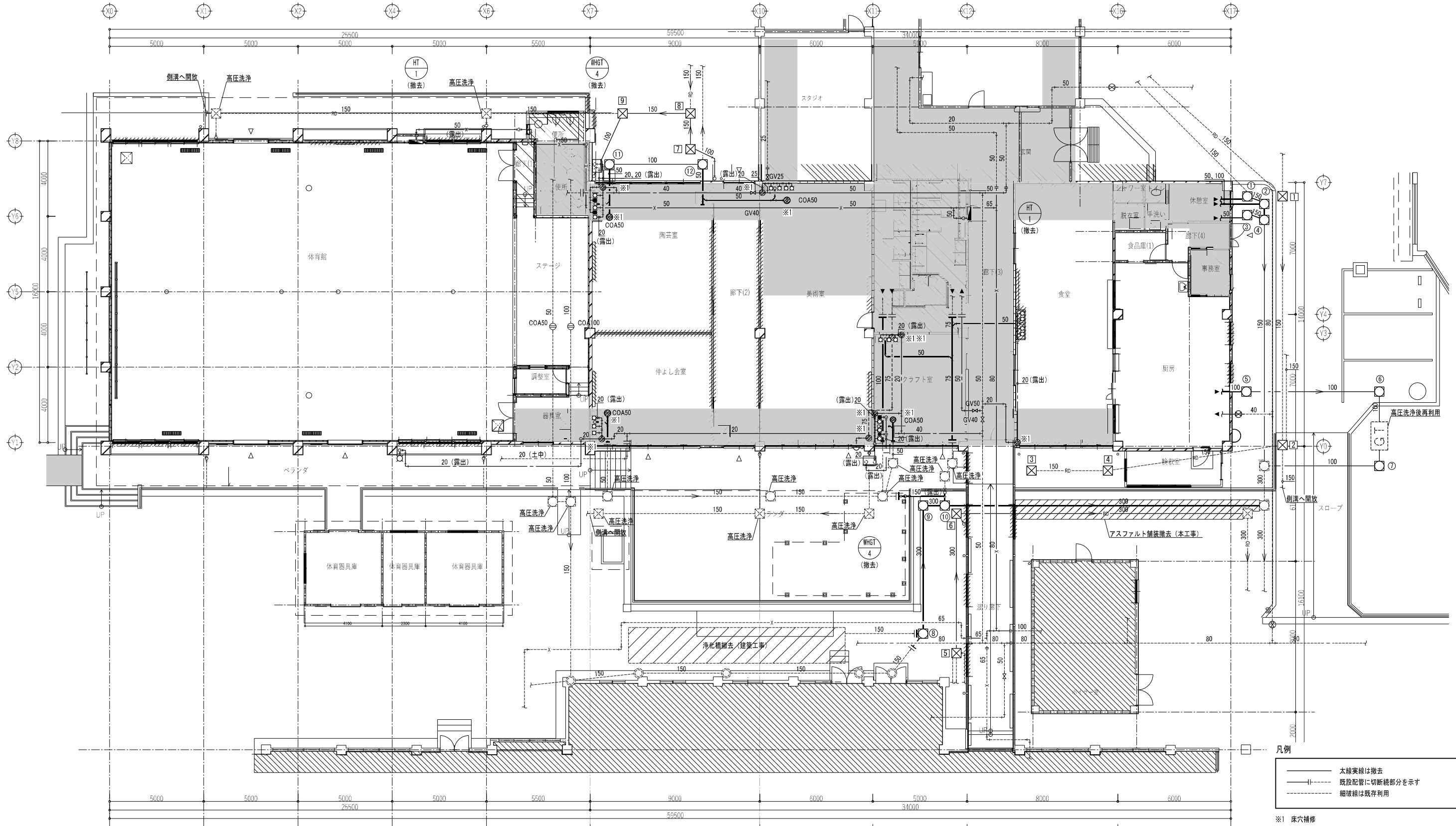
器具名	仕様 形式及び付属品	1F										小計	
		トイレ	前室	シャワー室	厨房	食堂	クラフト室	美術室	仲よし会室	助産室	屋外		
大便器	FV式洋風便器	1											1
手洗器			1		1								2
シャワー混合水栓				1									1
混合水栓	壁付レバー混合水栓				1								1
単水栓	横水栓				16	4	8	4	3	4		1	40

器具名	形式及び付属品	参考型番 (TOT)	参考型番 (LIXIL)	電気容量		1F										小計	
				φ-V	kW	トイレ	前室	厨房	作業学習室 (1)	作業学習室 (2)	美術室 (1)	美術室 (2)	仲よし会室	食堂	屋外		
大便器	フラッシュタンク式洋風便器 振音装置付きウェシュレット (蓋あり、貯湯式) SUS製棚付二連紙巻器 その他付属品一式	CFS498BK TCF5534AU YH702		1-100	0.4	1											1
洗面器	カウンター式洗面器 自動水栓 その他付属品一式	L710C TLE25SS1A	L-555N AM-330C	1-100	0.01		1										1
手洗器	コンパクト手洗器 自動水栓 トラップカバー、その他付属品一式	LSE870BSFR	L-A74TAB	1-100	0.01	1											1
手洗器	スタッフ用手洗器 自動水栓 (サーモスタット付) その他付属品一式	LS850EPA TEL121A2	LA-101KAE	1-100	0.01			1									1
混合水栓	壁付シングルレバー混合水栓	TKS05315J	TKS05315J						10	3	3	3	3	3	3		28
単水栓	レバー式自在式単水栓、スパウト300mm	TK133EQ13C	LF-12F(300)-13-U (ln'-)						2								2
単水栓	横水栓	T200SNR13C	LF-7R-13-U													1	1
単水栓	洗濯機用横水栓 (緊急止水)	TW11RF	LF-WJ50KQA-U					1									1
洗濯機パン	640タイプ ABS製縦引き排水トラップ	PWP64J2W	PF-6464AC					1									1

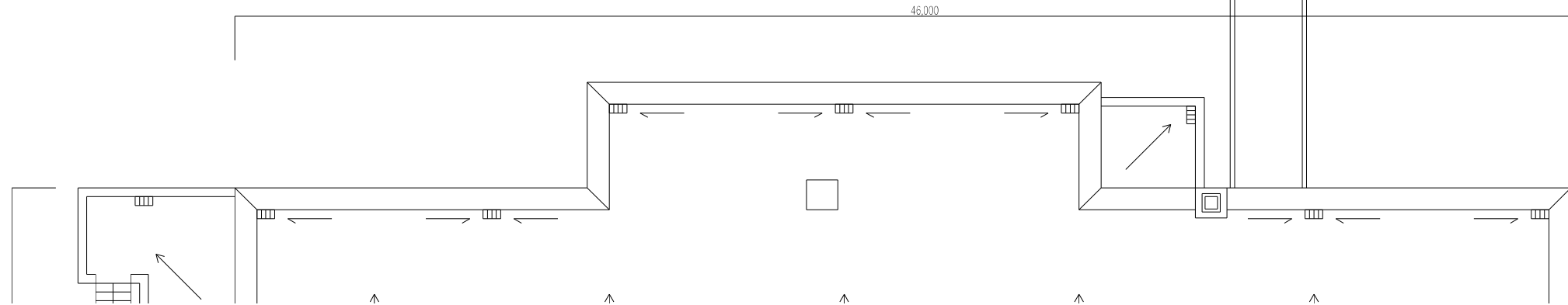
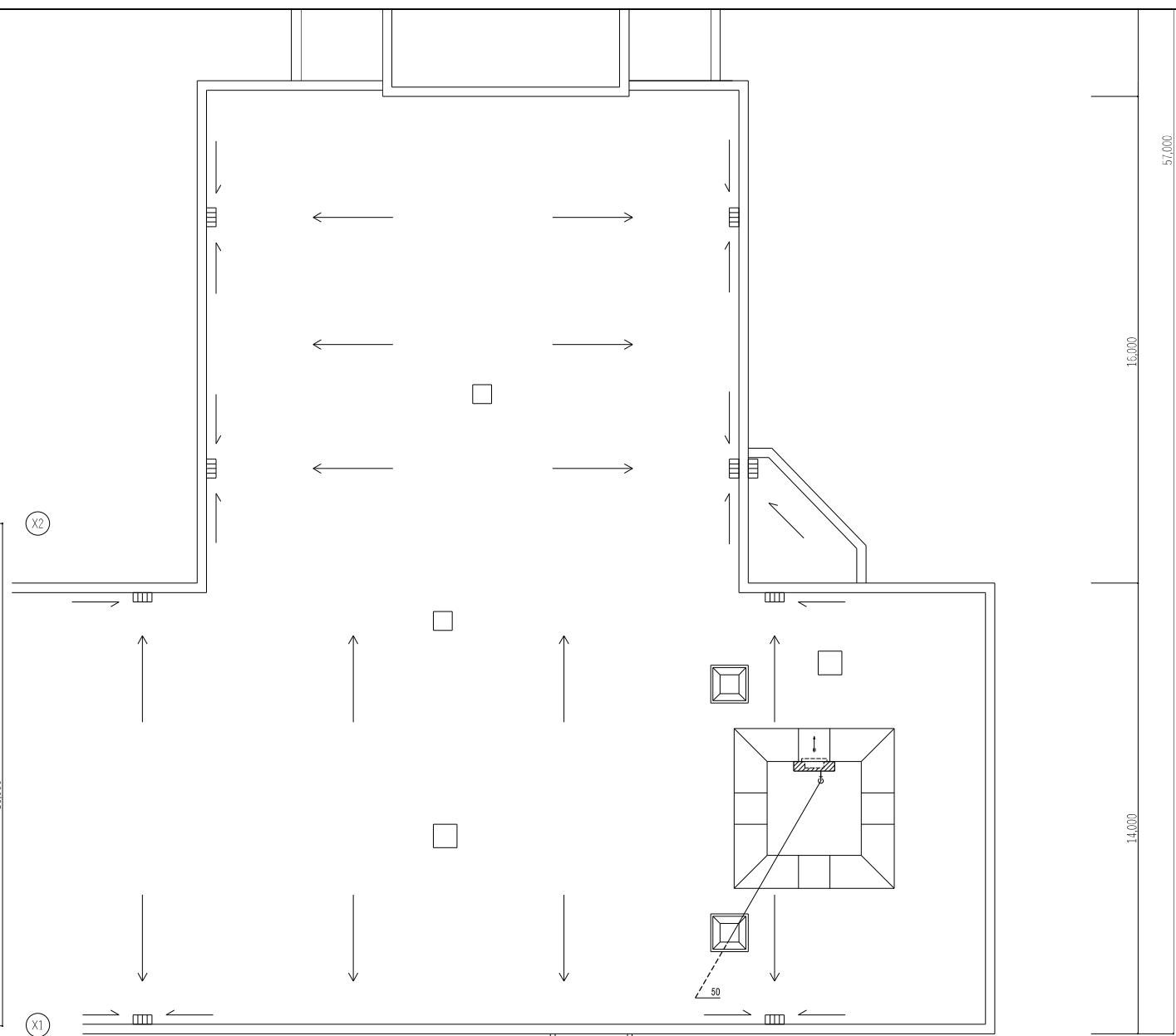
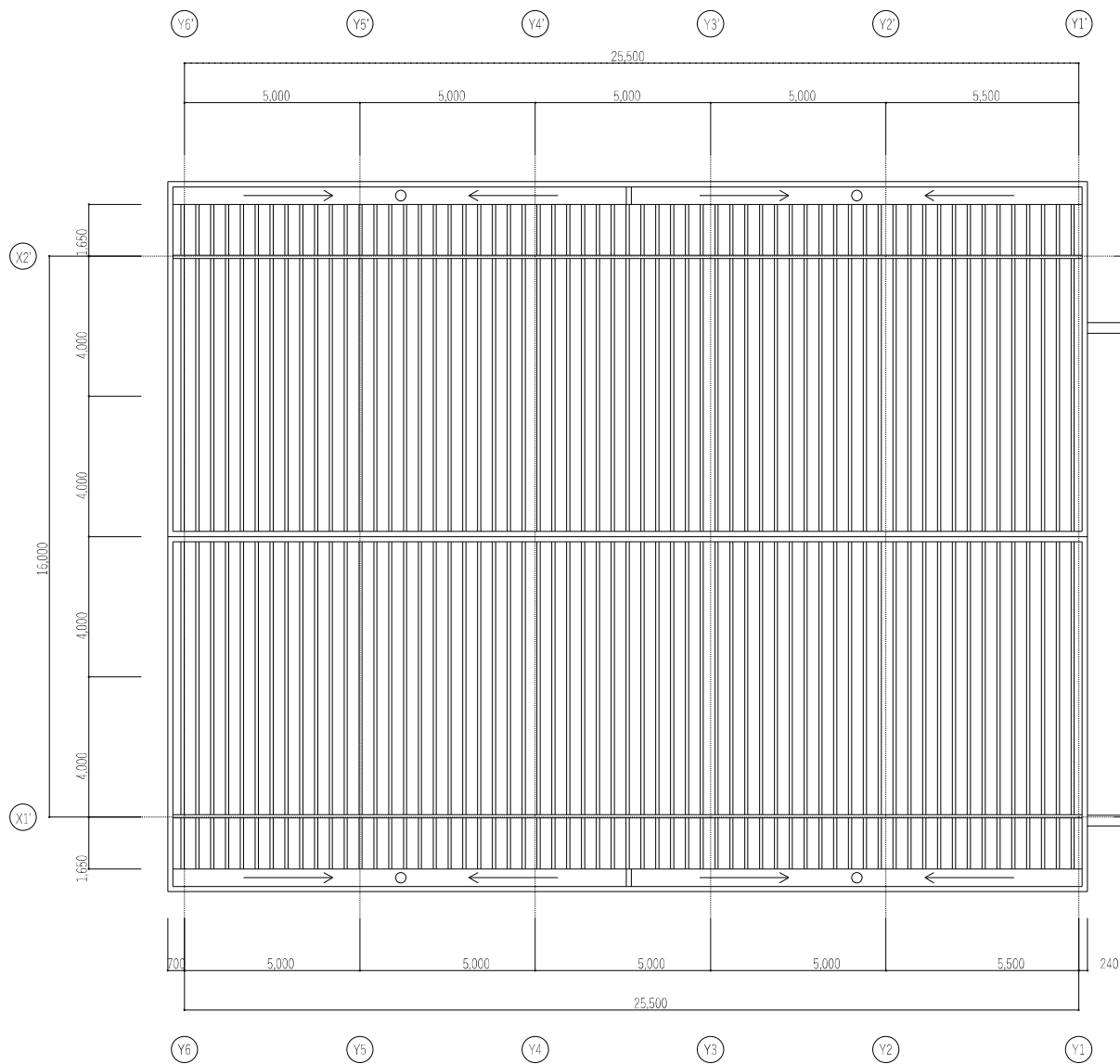
山梨大学施設・環境部				設計 山梨大学 (武田 1 (附特)) 校舎 業務名 (二期) 改修設計業務		工事名 山梨大学 (武田 1 (附特)) 校舎 (二期) 改修機械設備工事 図面名 給排水衛生設備 機器表 (改修前・改修後)	
担当		検査員 湯本	設計担当 春日	担当 春日	担当 春日	設計者 春日 仁一	図面番号 M-15

番号	樹種類	種別	樹の大きさ (mm) (主口径×枝口径-樹口径)	管底高さ (GL-)	樹深さ	蓋仕様	備考
①	コンクリート製樹	インバート樹	150φ-500φ	640	640	コンクリート製	
②	コンクリート製樹	インバート樹	150φ-500φ	650	650	コンクリート製	
③	コンクリート製樹	インバート樹	150φ-500φ	450	450	コンクリート製	
④	コンクリート製樹	インバート樹	150φ-500φ	680	680	コンクリート製	
⑤	コンクリート製樹	インバート樹	100φ-500φ	350	350	コンクリート製	
⑥	コンクリート製樹	インバート樹	100φ-500φ	400	400	コンクリート製	
⑦	コンクリート製樹	インバート樹	100φ-500φ	550	550	コンクリート製	
⑧	コンクリート製樹	インバート樹	300φ-500φ	480	480	コンクリート製	
⑨	コンクリート製樹	インバート樹	300φ-500φ	500	500	コンクリート製	
⑩	コンクリート製樹	インバート樹	300φ-500φ	510	510	コンクリート製	
⑪	コンクリート製樹	インバート樹	100φ-500φ	450	450	コンクリート製	
⑫	コンクリート製樹	インバート樹	150φ-500φ	480	480	コンクリート製	

番号	樹種類	種別	樹の大きさ (mm) (主口径×枝口径-樹口径)	管底高さ (GL-)	樹深さ	蓋仕様	備考
⑬	コンクリート製樹	ため樹	150φ-500φ	620	620	コンクリート製	
⑭	コンクリート製樹	ため樹	150φ-900φ	2000	2000	コンクリート製	
⑮	コンクリート製樹	ため樹	150φ-500φ	500	500	コンクリート製	
⑯	コンクリート製樹	ため樹	150φ-500φ	550	550	コンクリート製	
⑰	コンクリート製樹	ため樹	300φ-500φ	450	450	グレーチング	
⑱	コンクリート製樹	ため樹	300φ-500φ	500	500	グレーチング	
⑲	コンクリート製樹	ため樹	150φ-500φ	450	450	コンクリート製	
⑳	コンクリート製樹	ため樹	150φ-500φ	710	710	コンクリート製	
㉑	コンクリート製樹	ため樹	150φ-500φ	1450	1450	コンクリート製	



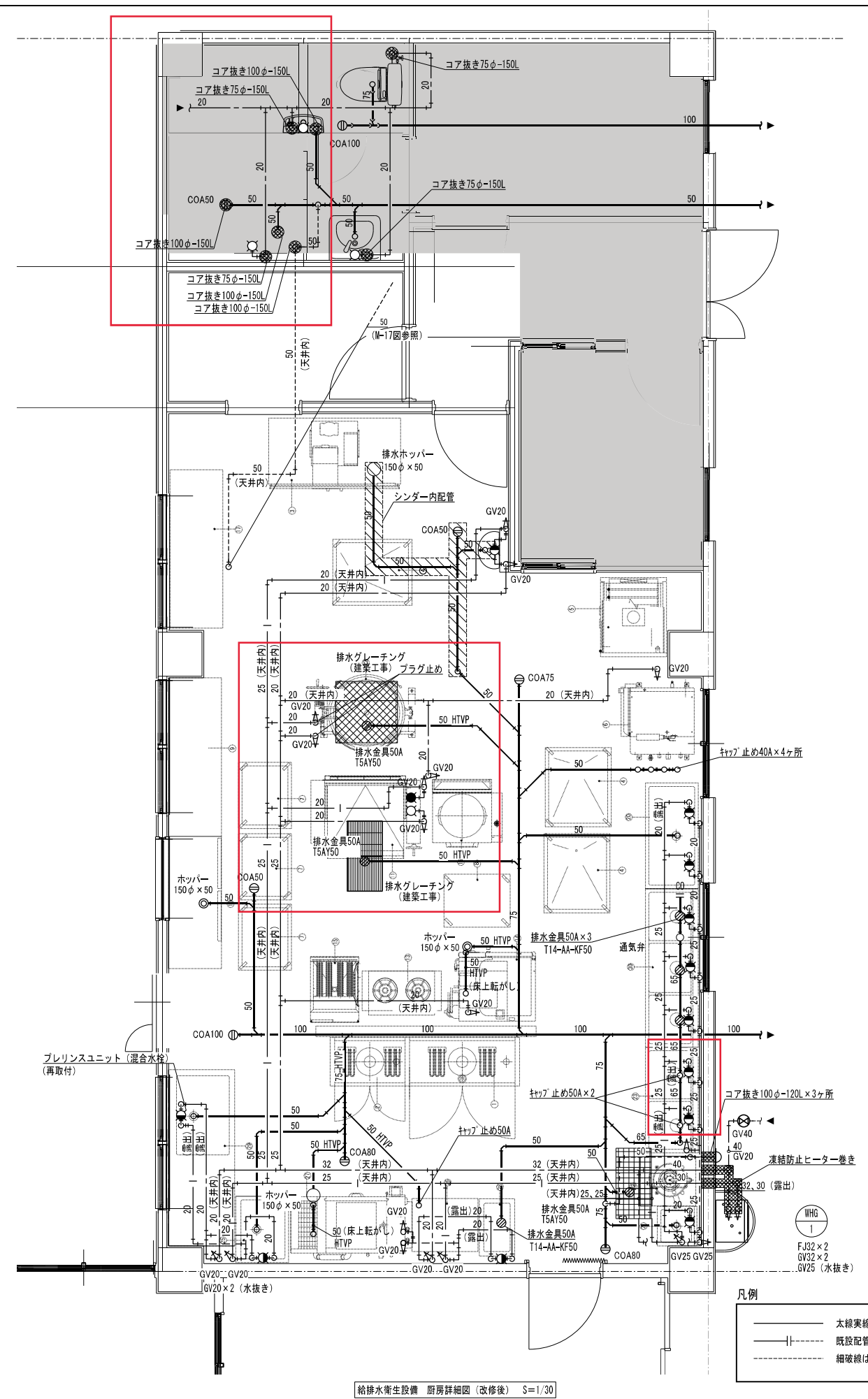
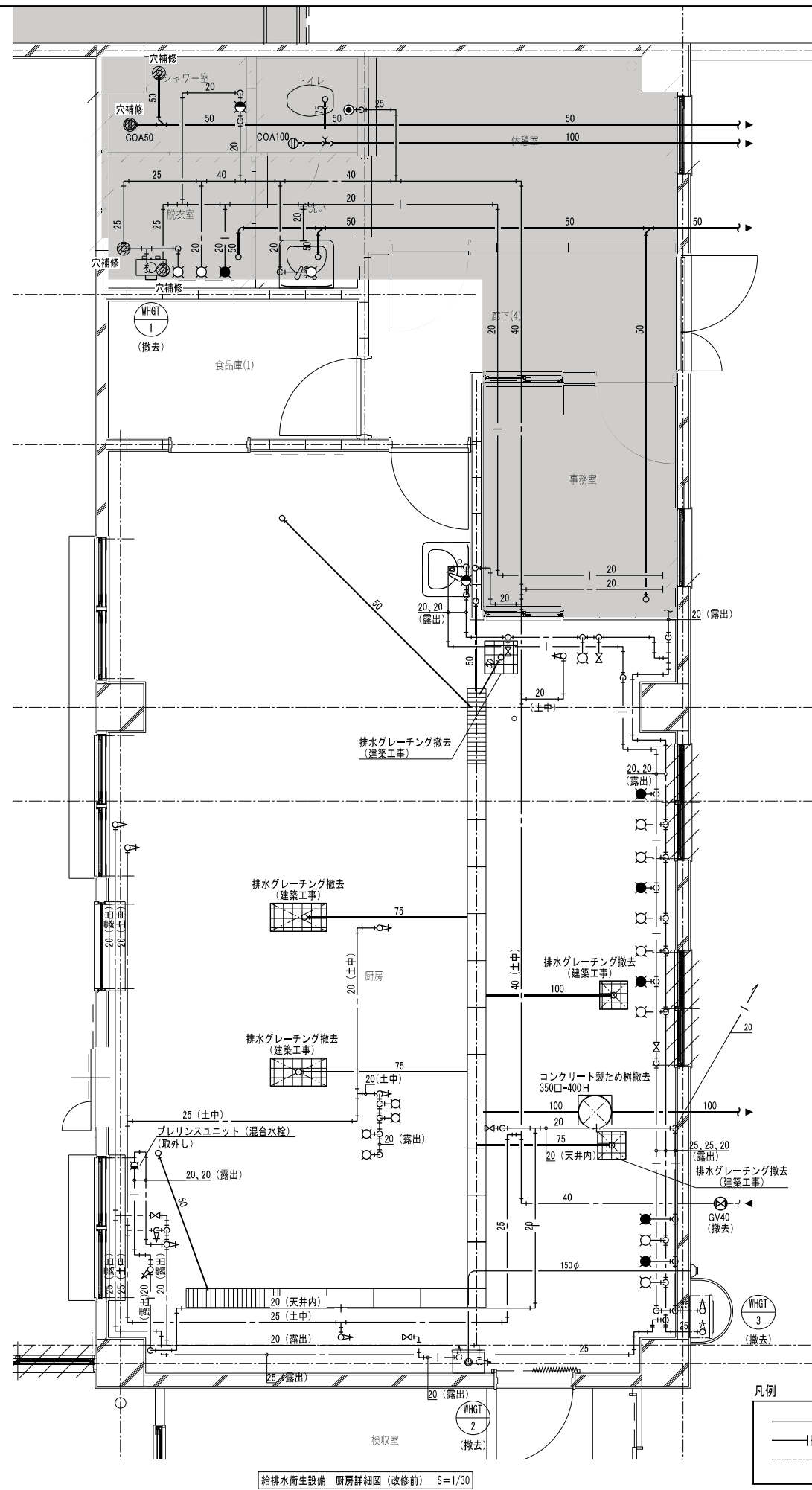
山梨大学施設・環境部		AEI 株式会社 一級建築士事務所登録(長野) 第77312号 管理建築士 一級建築士登録 第208750号 関口 浪男 〒381-0012 長野市御所2360番地4 TEL 026(286)4300		設計者 山梨大学(武田1(附特))校舎 業種名 (Ⅱ期)改修設計業務 設計者 一級建築士登録 第323511号 氏名 春日 仁一		工事名 山梨大学(武田1(附特))校舎(Ⅱ期)改修機械設備工事 図面名 給排水衛生設備 平面図(改修前) 編尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200 図面番号 M-16	
担当	湯本 春日	担当	春日 仁一				



凡例

	大線実線は新設
	既設配管に再接続部分を示す
	細破線は再利用

担当	山梨大学施設・環境部	株式会社 AEA 設計 一般建築士事務所登録(長野) 長野77312号 管理建築士 一般建築士登録 第208750号 関口 浪男 〒381-0012 長野市御殿2360番地4 TEL 026(286)4300	設計者 山梨大学(武田1(附特))校舎 (二期)改修設計業務 設計者氏名 春日 仁一 第323511号	工事名 山梨大学(武田1(附特))校舎(二期)改修機械設備工事 計画名 給排水衛生設備 屋上平面図(改修後) 縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200	図面番号 M-18
	検査員 湯本 春日 設計担当 春日 仁一 担当 春日 仁一		設計者氏名 春日 仁一 第323511号	縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200	図面番号 M-18



山梨大学施設・環境部

AECA 株式会社
 一級建築士事務所 (長野) 長野市 773-12 号
 管理棟 1 号 2 階 208750 号 関口 浪男
 〒381-0012 長野市 2360 番地 4 TEL 026(286)4300

設計
 山梨大学 (武田 1 (附特)) 校舎
 (二期) 改修設計業務

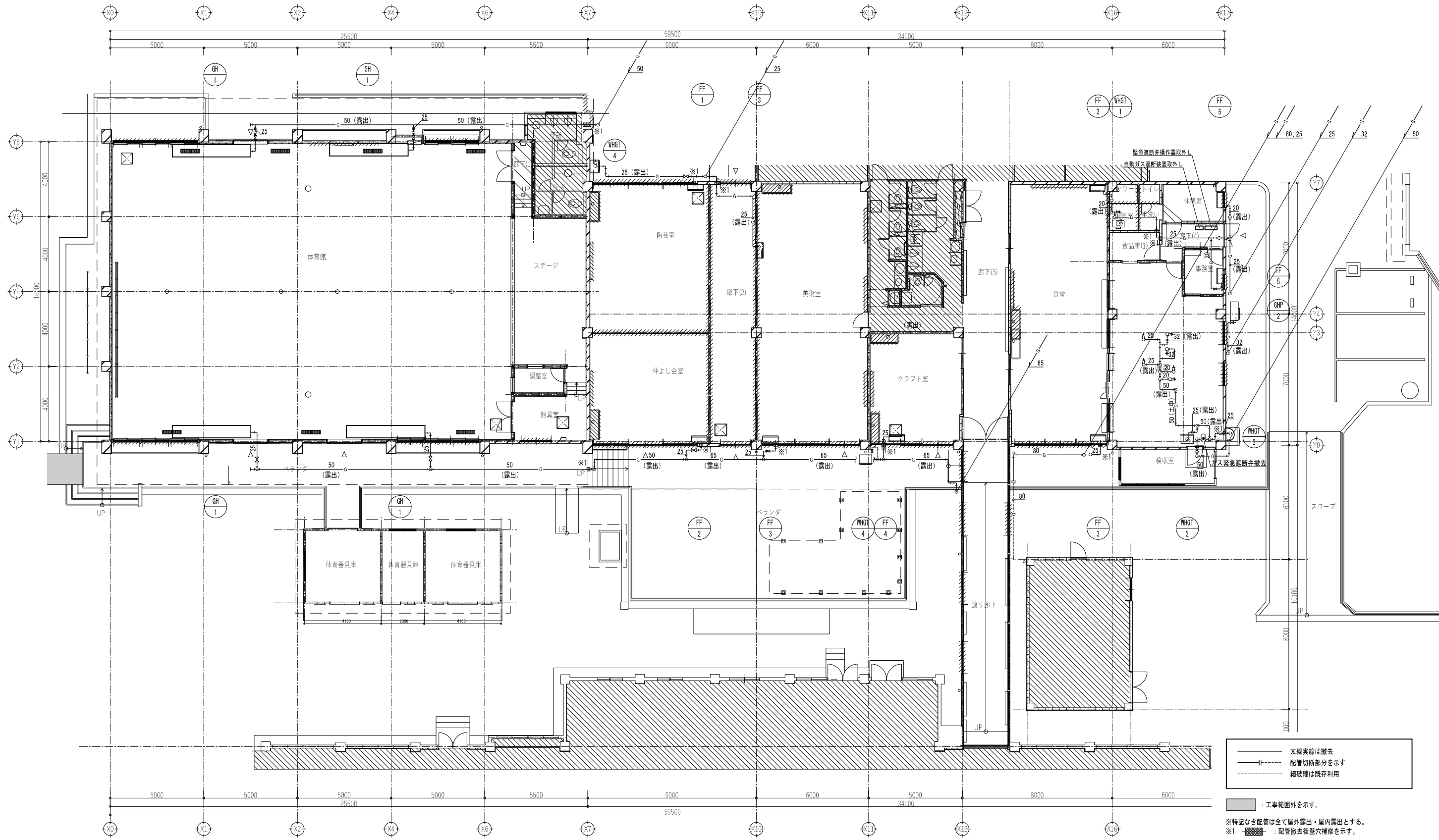
工事名
 山梨大学 (武田 1 (附特)) 校舎 (二期) 改修機械設備工事
 給排水衛生設備 厨房詳細図 (改修前・改修後)

設計者
 一級建築士 湯本 春日 日
 第 323511 号

設計者
 一級建築士 春日 仁一
 第 323511 号

縮尺
 A1 : 1/30
 A3 : 1/60
 図面番号
 M-19

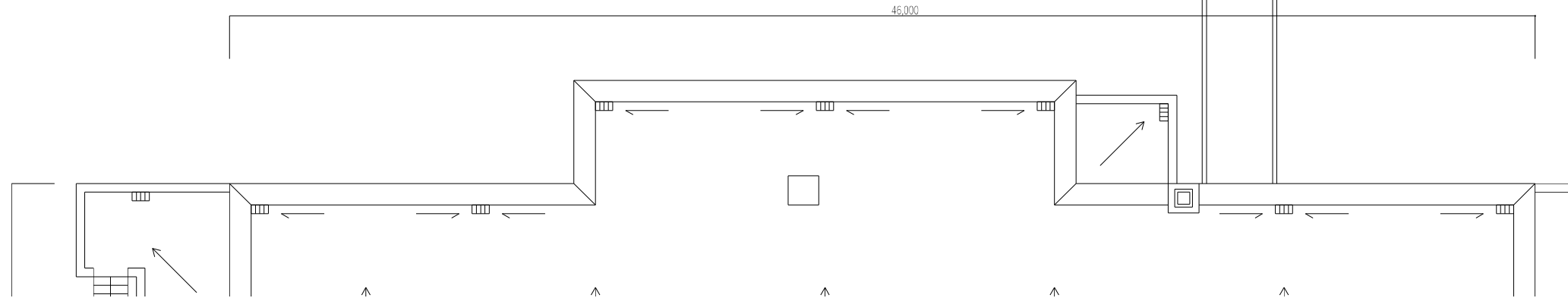
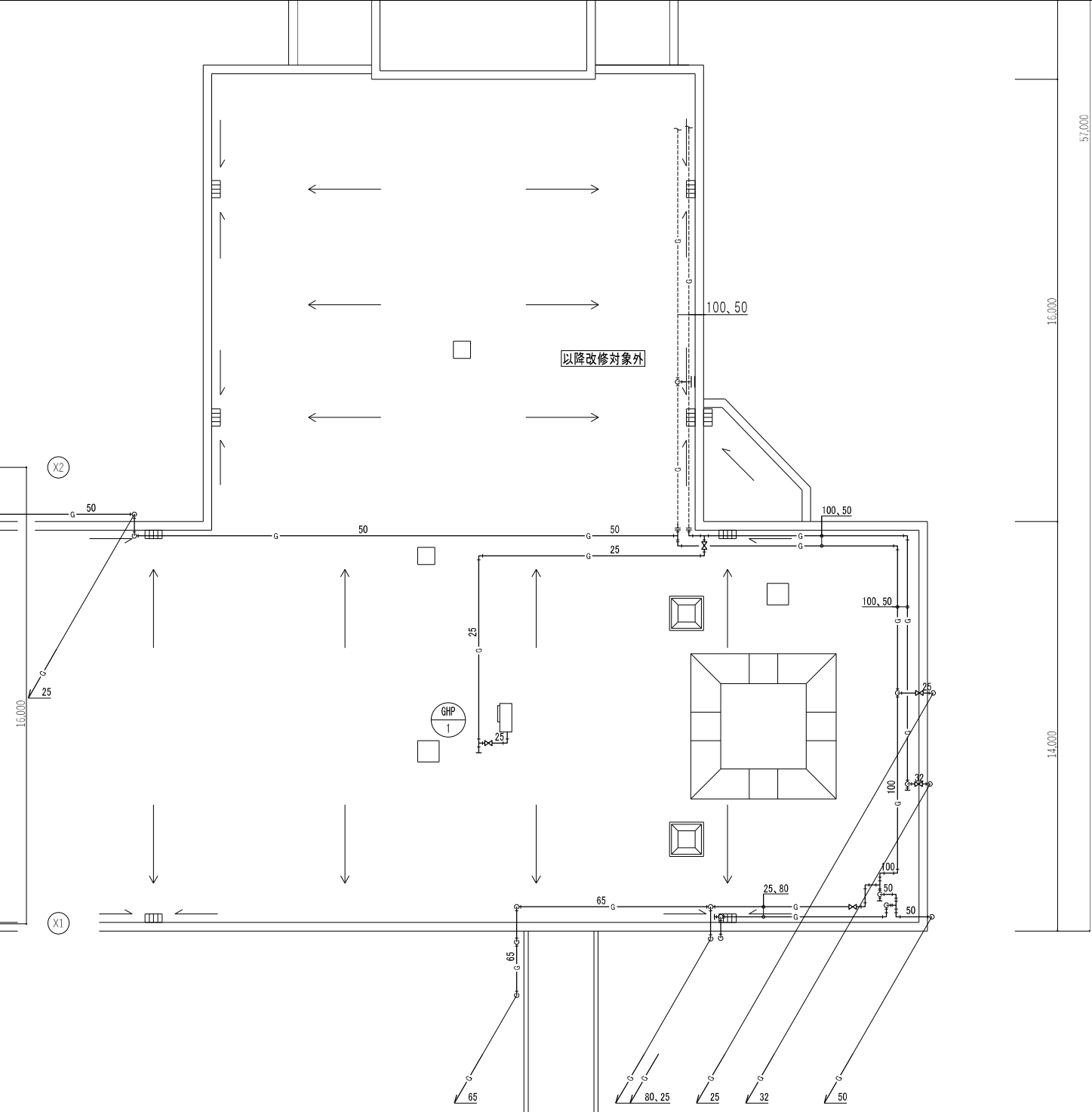
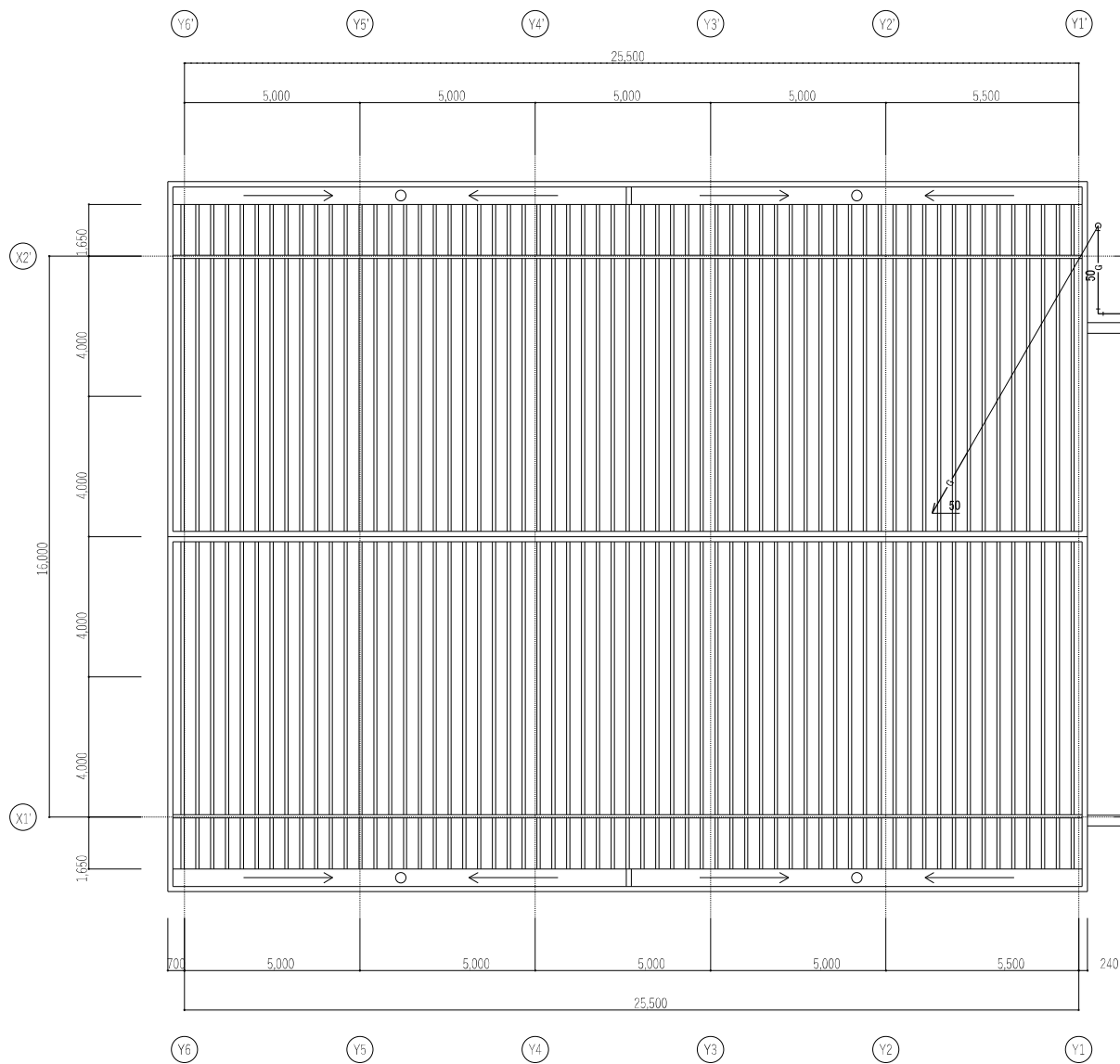
担当



太線実線は撤去
 配管切断部分を示す
 細破線は既存利用

〇 : 工事範囲外を示す。
 ※特記なき配管は全て屋外露出・屋内露出とする。
 ※1 : 配管撤去後壁穴補修を示す。

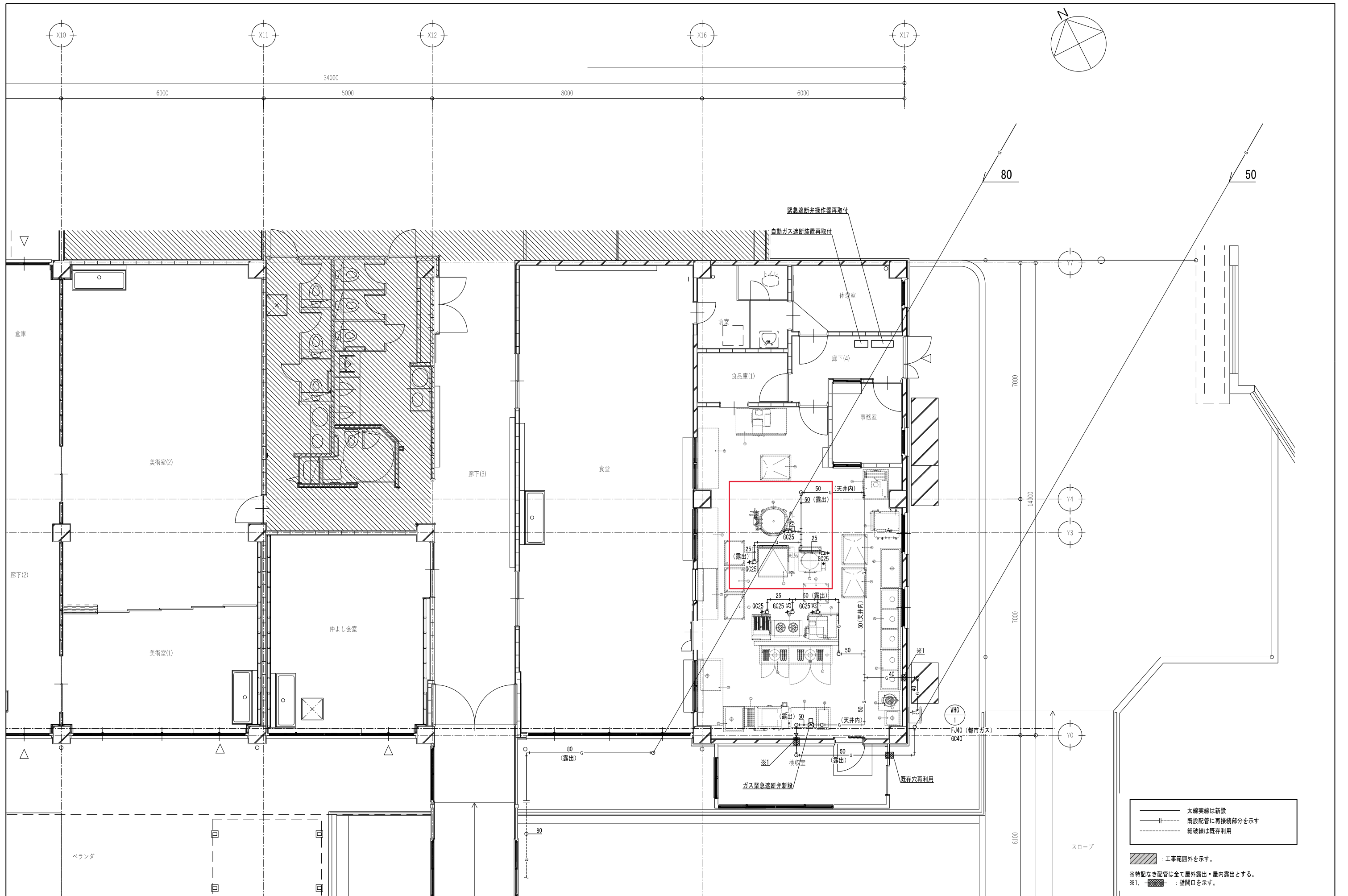
山梨大学施設・環境部				AE&I 株式会社 エー&イーエーエー 一級建築士事務所 長野県 長野市 773-12 番 管理建築士 一級建築士登録 第208750号 関口 浪男 〒381-0012 長野市御殿2360番地4 TEL 026(286)4300		設計 山梨大学 (武田1 (附特)) 校舎 業務 山梨大学 (武田1 (附特)) 校舎 (II期) 改修設計業務		工事名 山梨大学 (武田1 (附特)) 校舎 (II期) 改修機械設備工事 図面名 ガス設備 平面図 (改修前)	
担当	担当	設計者	検査員	設計者	検査員	縮尺	図面番号		
	湯本 春日	湯本 春日	湯本 春日	湯本 春日	湯本 春日	A1 : 1/100 A3 : 1/200	M-20		



— 太線実線は撤去
 -|- 配管切断部分を示す
 - - - 細破線は既存利用

■ : 工事範囲外を示す。
 ※特記なき配管は全て屋外露出・屋内露出とする。
 ※1 - [Symbol] - : 配管撤去後壁穴補修を示す。

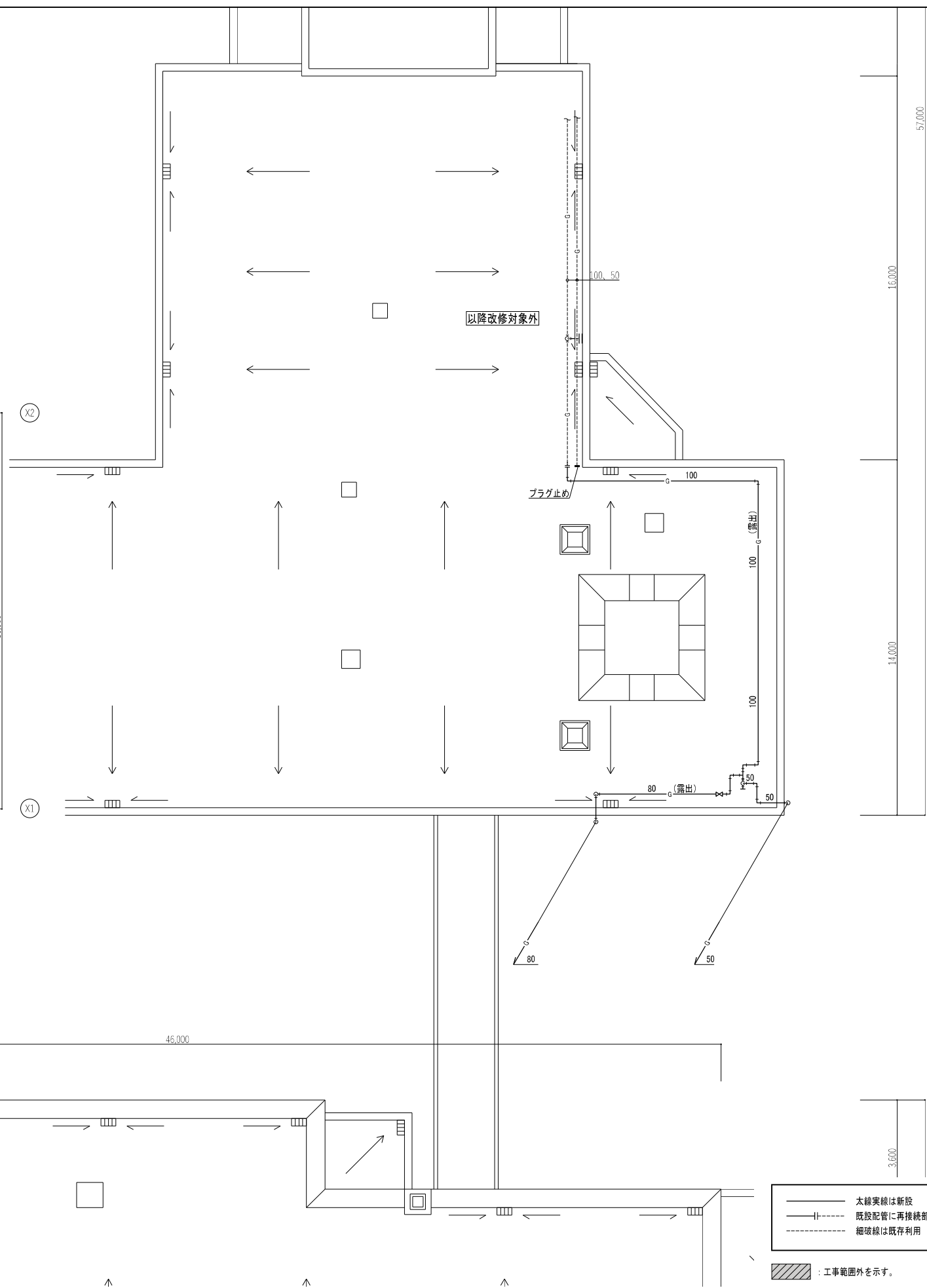
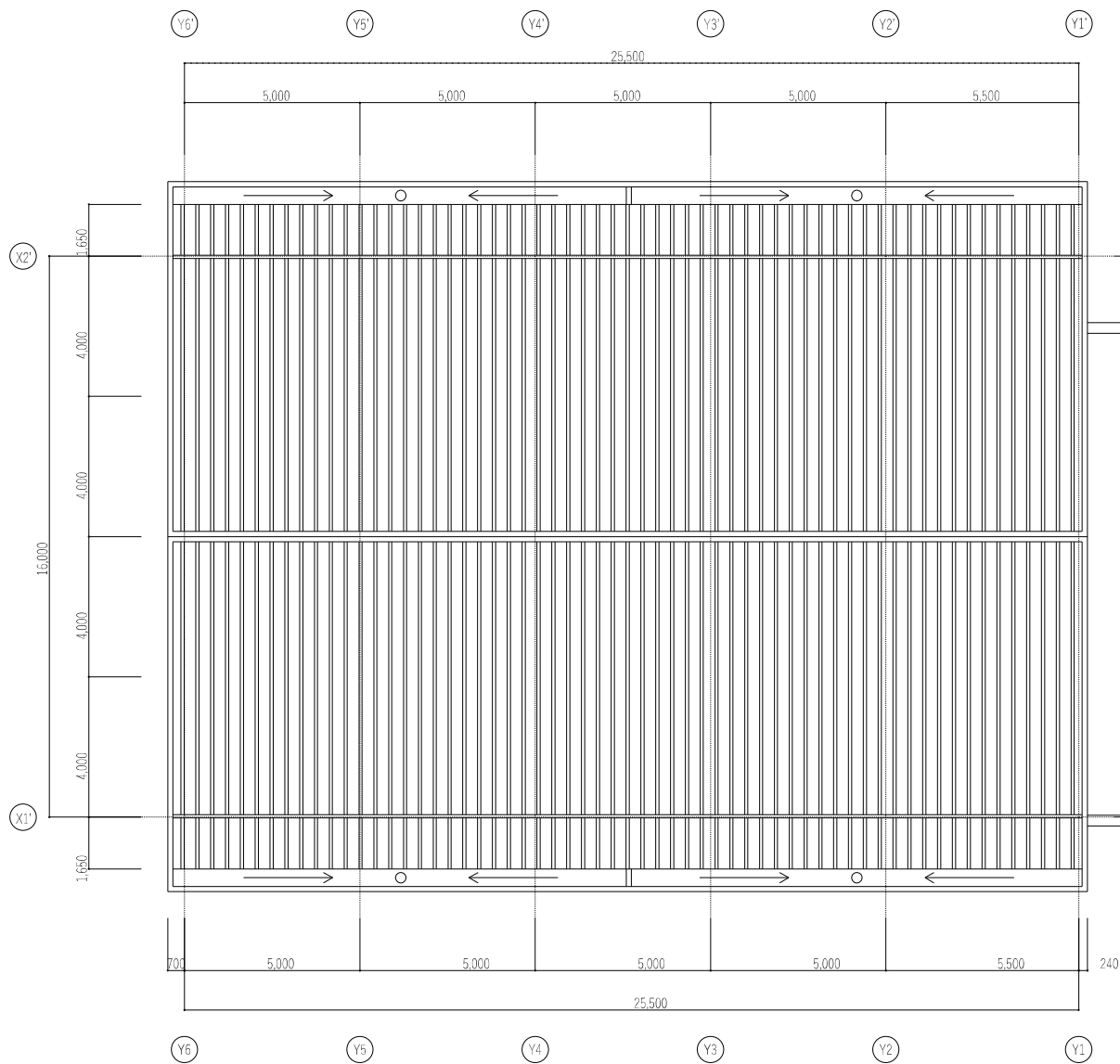
山梨大学施設・環境部		AEI 株式会社 <small>一般建築士事務所登録(長野) 第77312号 管理建築士 一般建築士登録 第208750号 関口 浪男 〒381-0012 長野市船場2360番地4 TEL 026(286)4300</small>		設計者 山梨大学(武田1(附特))校舎 (二期)改修設計業務 設計者氏名 春日 仁一	工事名 山梨大学(武田1(附特))校舎(二期)改修機械設備工事 計画名 ガス設備 屋上平面図(改修前) 縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200
担当	検査員 湯本 春日 設計担当 春日 チャン 担当者	設計者氏名 春日 仁一	図面番号 M- 21		



——— 太線実線は新設
 -|-|- 既設配管に再接続部分を示す
 - - - 細破線は既存利用

[Hatched Area] : 工事範囲外を示す。
 ※特記なき配管は全て屋外露出・屋内露出とする。
 ※1. [Symbol] : 壁開口を示す。

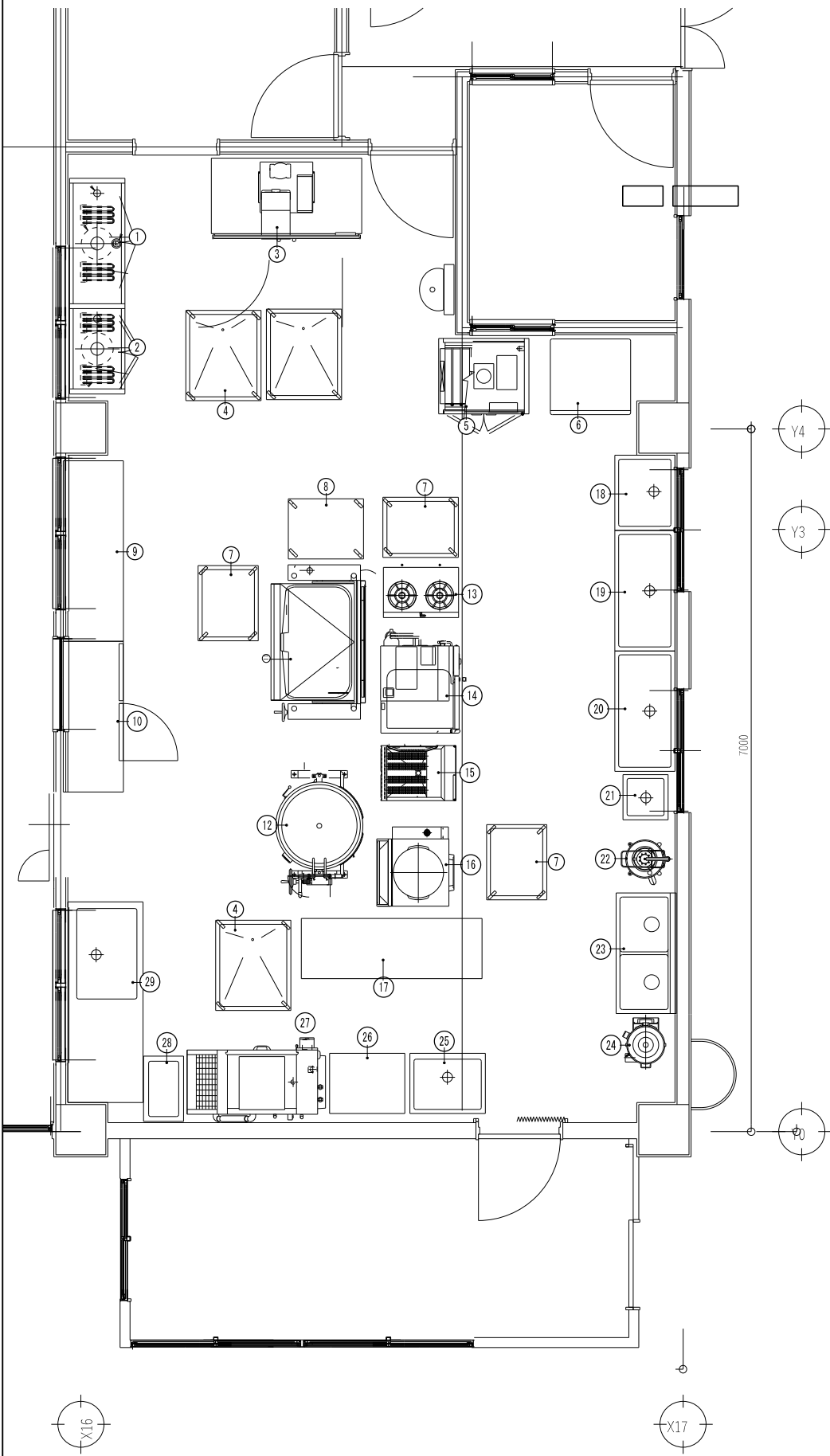
山梨大学施設・環境部				AEI 株式会社 エーイーエー設計 一級建築士事務所登録(長野) 長野77312号 管理建築士登録 第208750号 関口 浪男 〒381-0012 長野市御殿2360番地4 TEL 026(286)4300		設計者 山梨大学(武田1(附特))校舎 (Ⅱ期)改修設計業務 一級建築士登録 第323511号 春日 仁一		工事名 山梨大学(武田1(附特))校舎(Ⅱ期)改修機械設備工事 平面名 ガス設備 平面図(改修後)	
担当	検査員 湯本	設計担当 春日	担当 春日	設計者 春日	編尺 A1 : 1/50 A3 : 1/100	図面番号 M- 22			



太線実線は新設
 既設配管に再接続部分を示す
 細破線は既存利用

斜線 : 工事範囲外を示す。
 ※特記なき配管は全て屋外露出・屋内露出とする。
 ※1. 破線 : 壁開口を示す。

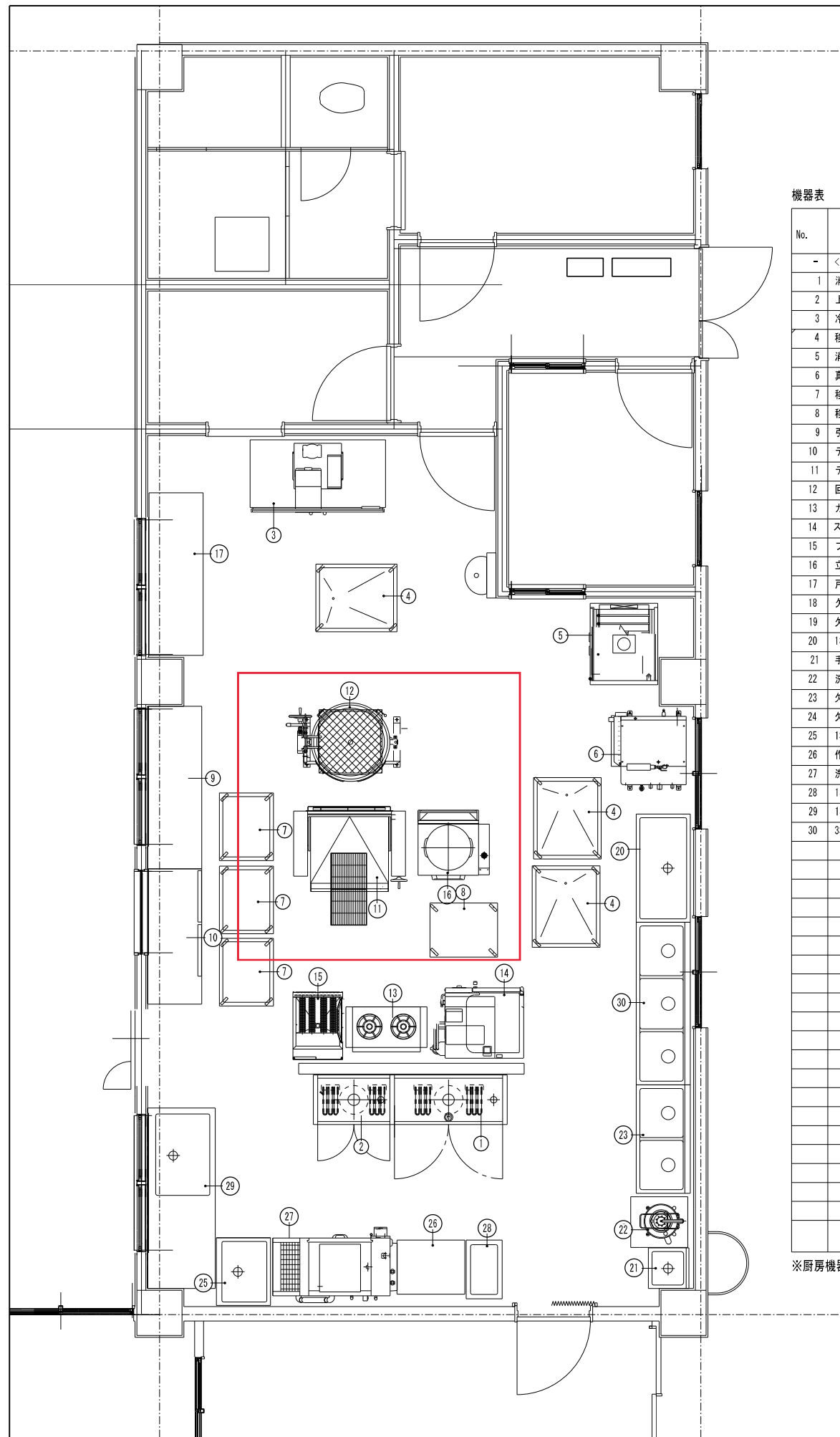
		山梨大学施設・環境部		AEI 株式会社 エーイーエー設計 一級建築士事務所登録(長野) 長野77312号 管理建築士 一級建築士登録 第208750号 関口 浪男 〒381-0012 長野市御殿2360番地4 TEL 026(286)4300		設計者 山梨大学(武田1(附特))校舎 (二期)改修設計業務 設計者氏名 春日 仁一		工事名 山梨大学(武田1(附特))校舎(二期)改修機械設備工事 計画名 ガス設備 屋上平面図(改修後)	
担当		検査員 湯本 春日 設計担当 春日 チャン 担当者 春日 チャン		設計者氏名 春日 仁一		縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200		図面番号 M- 23	



機器表

No.	品名	形式	台数	寸法 (mm)			配管口径 (A)				電気 (50Hz, kW)			フイット	備考	
				W	D	H	給水	給湯	排水		口径 A	13A				
				機器側		設備側		kW		単相100V	単相200V	三相200V				
1	消毒保管機	MCSK-25-e	1	2150	550	1900									9.4	
2	欠番															
3	冷凍冷蔵庫	不明	1	1500	800	1910			ホースφ30	40						
4	移動台		3	900	750	800										
5	消毒保管機	EMW-1004N	1	900	800	1910									6.75	
6	真空冷却機	CMJ-200E	1	755	800	1640	20		32×1 15×3	40×4					7.25	
7	移動台		3	750	600	800										
8	移動台		1	750	600	800										
9	引違戸付作業台		1	1800	600	800										
10	テーブル形冷蔵庫		1	1500	600	800			ホースφ30	40			0.331			
11	ティルティングパン	CSP2-100F	1				20	20			20	38.4	0.02			要
12	回転釜	KGS-30	1								20	36.0				要
13	ガスコンロ 架台含む	RGC-094	1	900	450						20	26.7				要
14	スチコン 架台含む	CSW-1G101	1	870	780	1830	20				40	20	33.7	1.12		要
15	フライヤー	NB-TGFL-55	1	530	600	850					15	10.7				要
16	立体炊飯機	RMG-104R	1	790	720	1220					15	20.2	0.030			要
17	戸棚		1	1800	600	1850										
18	1槽シンク		1	750	600	800	15	15								
19	1槽シンク		1	1200	600	800	15	15								
20	1槽シンク		1	1200	600	800	15	15								
21	手洗器		1	450	450	800	15	15								
22	洗米器		1				20									
23	2槽シンク															
24	球根皮剥き機	P-26	1										0.20			
25	1槽シンク		1	750	600	800	15	15								
26	作業台		1	750	600	800										
27	洗浄機	PA-13HA-L	1	1300	835	1900		15×2							2.26	要
28	1槽シンク															
29	1槽シンク		1	2000	750	800	20	20					0.325			
合計												165.7	2.425	25.66		

※厨房機器は工事対象外とする。



機器表

No.	品名	形式	台数	寸法 (mm)			配管口径 (A)			13A			電気 (50Hz, kW)			備考
				W	D	H	給水	給湯	排水	口径	kW	単相100V	単相200V	三相200V		
-	< >															
1	消毒保管機 【既存】	MCSK-25-e	1	2150	550	1900										9.4
2	上記に含む															
3	冷凍冷蔵庫	HRF-150A-1	1	1500	800	1910			ホースφ30	40			0.599			
4	移動台 【既存】		3	900	750	800										
5	消毒保管機 【既存】	EMK-1004N	1	900	800	1910										6.75
6	真空冷却機	CMJ-200E	1	755	800	1640	20		32×1 15×3	40×4						7.25
7	移動台 【既存】		3	750	600	800										
8	移動台 【既存】		1	750	600	800										
9	引違戸付作業台 【既存】		1	1800	600	800										
10	テーブル形冷蔵庫 【既存】		1	1500	600	800			ホースφ30	40			0.331			
11	ティルティングパン	CSP3-70F	1	1240	940	880	20	20			20	27.9	0.02			要
12	回転釜	K1G2DX-20RKH	1	1390	1060	780	20	20			20	36.0				要
13	ガスコンロ 架台含む 【既存】	RGK-094	1	900	450						20	26.7				要
14	スチコン 架台含む 【既存】	CSW-1G101	1	870	780	1830	20			40	20	33.7	1.12			要
15	フライヤー 【既存】	NB-TGFL-55	1	530	600	850					15	10.7				要
16	立体炊飯機 【既存】	RMG-104R	1	790	720	1220					15	20.2	0.030			要
17	戸棚		1	1800	600	1850										
18	欠番			750	600	800	15	15			40					
19	欠番			1200	600	800	15	15			40					※水栓カラン数 要打ち合わせ
20	1槽シンク 【既存】		1	1200	600	800	15	15			40					※水栓カラン数 要打ち合わせ
21	手洗器 【既存】		1	450	450	800	15	15			40					
22	洗米器 【既存】		1				20				40					
23	欠番															
24	欠番															
25	1槽シンク 【既存】		1	750	600	800	15	15			40					
26	作業台 【既存】		1	750	600	800										
27	洗浄機 【既存】	PA-13HA-L	1	1300	835	1900		15×2		40				2.26	要	要高温給湯 高温排水
28	1槽シンク		1													
29	1槽シンク 【既存】		1	2000	750	800	20	20					0.325			
30	3槽シンク		1	1800	600	800	15×3	15×3		40×3						
合計												155.2	2.425	25.66		

※厨房機器は工事対象外とする。

山梨大学施設・環境部

AEI 株式会社 エーイーエー設計
 一級建築士事務所登録(長野) 長野77312号
 管理建築士 一級建築士登録 第208750号 関口 浪男
 〒381-0012 長野市船原2360番地4 TEL 026(286)4300

設計者 山梨大学(武田1(附特))校舎
 業務名 (Ⅱ期)改修設計業務

工事名 山梨大学(武田1(附特))校舎(Ⅱ期)改修機械設備工事
 図面名 厨房設備 平面図(改修後参考)

設計者氏名 一級建築士登録 第323511号
 春日 仁一

縮尺 A1 : 1/30
 A3 : 1/60

図面番号 M- 25

担当